日本刀の源流「蕨手刀」に思いを寄せて NHK歴史探偵「日本の刀剣」視聴記録&資料収集

添付 蕨手刀を手に戦った東北の蝦夷に思いを寄せて 古代東北の和鉄の道資料整理 RO409warabiteweb.pdf 2022.8.20. Mutsu Nakanishi

■ 蝦夷が手にした蕨手刀

この蕨手刀は蝦夷に伝わって武器としての進化を遂げたという。この刀を持っていたことで、 蝦夷は坂上田村麻呂などの蝦夷征討軍を苦しめることができたのだという。





畿内政権と戦った蝦夷国アテルイの武器 蕨手刀の分布

騎馬部隊の存在…

阿弖流為が、何故一次蝦夷征伐で朝廷軍を蹴散らせたか? 圧倒的な騎馬戦力が有ったからではないかと。

それは馬の捕獲数で裏付け可能。

蝦夷38年戦争により、騎馬部隊による斬撃の有効性が立証された としたら?

一機にその方向で戦略物資たる、太刀の構造や馬の確保の見直しもやるだろう。やらねば、律令制の完成は無いのだから。

蕨手刀の能力を最大限に引き出すのは、

騎乗で片手で振り回せる手軽さと、片刃で柄が刀身に対し湾曲する 「斬撃性」だった。

それを極限迄高めたのが…日本刀。そんな背景を持つ。



清水山将軍塚が見下ろす清水寺の舞台のすぐ下 緑に包まれて蝦夷の族長 阿弖流為と母禮の顕彰碑

参考 蝦夷の雄「アテルイ」の痕跡「京都清水寺・将軍塚」

https://infokkkna.com/ironroad/2016htm/1603tpb01aterui.pdf 8月21日 久し振りに 阿弖流為/母禮の顕彰碑に出会ってきました。 平和に尽くした坂上田村麻呂と蝦夷の族長 阿弖流為に思いを馳せつつ 大きな時代の転換期の今 希望にみちた穏やかな未来がひらけるようを祈りました

蕨手刀に思いを寄せて NHK 歴史探偵「日本の刀剣」視聴記録 & 資料収集

添付 蕨手刀を手に戦った東北の蝦夷に思いを寄せて 古代東北の和鉄の道資料整理 FO409warabiteweb.pdf 2022.8.20, Mutsu Nakanishi

4月20日 (水) NHK 総合 夜 10 時放送 歴史探偵 「日本の刀剣 」 が放送され、

謎の多い古代刀・蕨手刀の科学と調査から日本刀の作刀方法や日本刀のルーツに迫り、また、その後の個性豊かな刀匠 たちの名刀も続々登場、妖刀村正伝説の真相にも迫り、意外な真実も。

そして、江戸時代後期、日本刀の作刀に一大変革をもたらした知られざる刀工・水心子正秀の偉業も。

古代から現代までの「刀剣」の歴史をたどりながら 日本人と刀剣の切っても切れない関係を多少漫画チックな面もあるが、謎ばかりが浮き彫りにされてきた「日本の刀剣」をわかりやすくまとめて 概説してくれた番組でした。

古代刀と蕨手刀

飛鳥時代〜奈良時代〜平安時代初期に作られていた古代の刀剣。 群馬県の大宮蕨鼓神社では、およそ1300年前の蕨手刀が保存されている。 草木をなぎ倒したり動物をさばく目的で作られたと考えられている。 また、群馬では東日本最古の製鉄遺構も発見されている。 このことからも、群馬は古代において東日本の先進技術が集まっていた 地域ではないかと考えられている。

蕨手刀は後の日本等は影響を与えたと考えられている。

しかし、その製造方法は謎に包まれている。

x線で蕨手刀の内部構造を調査したところ折り返し鍛錬されていない刀剣だった。

日本刀

個性豊かな名刀の数々 福岡一文字派、粟田口派、青江派、長船派、来派

妖刀村正伝説

家康の祖父が殺されたり、家康の父が襲われたり、家康の息子が切腹したり... これら徳川家の不幸にことごとく「村正」の刀剣が使われていたことから、 家康は村正を捨てさせた...という伝説。

しかし、その一方で実際には家康は村正を保有していたとも伝えられている。

八代将軍・吉宗は家康を高く評価したことから、妖刀村正伝説は都合が良かった。

刀鍛冶 水心子の挑戦

刀鍛冶 水心子正秀の刀剣は大人気だった。

そんな水心子は流行りの華やかな刀作りをやめ、本来あるべき古(いにしえ)の刀を作ることを志した。 水心子は多くの弟子たちに技を教え、広まっていった。



蕨手刀に思いを寄せてNHK 歴史探偵「日本の刀剣」視聴記録 2022.8.16.

私の一番の興味は平安時代の8世紀半ばから9世紀 東北の蝦夷たちが手にした「蕨手刀」 反りのある日本刀のルーツといわれ、まだ未開と思われた蝦夷たちが大和政権に対抗した原動力となった 武器 小ぶりの蕨手刀。

手にした「蕨手刀」のほとんどは東北の在地で鉄素材から刀に製作されたと思われる。 まだ中央大和政権の持つ重く扱いにくい直刀に対抗する、「切る/払う/突く」小回りの利く騎乗の武器。 そのルーツは東国で「道具」として生まれた鉄器といわれるが、 そのルーツについては諸説あり、よくわからない。

5世紀半ばに日本で渡来の工人たちと共に製鉄が始まり、威信財から武器・道具へと鉄器生産が日本各地へ広がり、 中央ではその量産体制が整えられ、大きく展開されてゆく平安時代

東北の蝦夷たちはまだ在地には小規模製鉄の小生産しかできぬ時代に、蝦夷たちは中央には見られぬ強力な武器蕨手刀を編み出して対抗した。まで よくわからぬ蝦夷たちの製鉄・鉄器生産技術に興味津々。

中央政権の征夷大将軍坂上田村麻呂と闘った蝦夷の属長「阿弖流為」が手にした武器「蕨手刀」とともに 長引く戦闘比叡の中で、「平和」を願い和睦・投降した阿弖流為とそれを受け入れ、 また、かなえられなかったが、族長としての阿弖流為の働きに助命を願い出た田村麻呂。 そして、自らの思いを込めて、創建した京都清水寺。 私には思い入れもひとしお。

断片的には何度も「和鉄の道」に東北の鉄の訪問記を掲載してきましたが、最新の目で 整理せねばと この番組を視聴記録と最近の資料チェックを始めました。

世は今 空前の「刀剣ブーム」 そんな中で、日本古来の製鉄技術「たたら」と日本 刀の原点「蕨手刀」。そして、それらに携わった工 人・職人たち そして時代を大きく進めた数々のドラマにも目を向けてほしいと。

コロナ禍の中 ロシアのウクライナ侵攻等々世界の分断・対立で平和が脅かされている時代 平和が脅かされる時いつも声をあげ「平和」を訴える清水寺の創建ルーツは坂之上田村麻呂 そして その舞台を見上げる 境内には平和を願い戦った両雄の顕彰ともいう阿弖流為の顕彰碑が立っている。

今年はまだ よう訪ねていないが、一度訪ねねばと思っている。

2022.8.16. 蕨手刀の資料を再整理しつつ

2022.8.16. Mutsu Nakanishi

1. 視聴記録作成の初めに - NHK 歴史探偵「日本の刀剣」蕨手刀に思いを寄せて -

私の一番の興味は平安時代8世紀半ばから9世紀 東北の蝦夷たちが手にした「蕨手刀」 反りのある日本刀のルーツといわれ、いまだ未開と思われた蝦夷たちが大和政権に対抗した原動力と♥ なった武器 小ぶりの蕨手刀。﴿

手にした「蕨手刀」のほとんどは東北の在地で鉄素材から刀に製作されたと思われるが、いまだ謎。 中央大和政権の兵士だちが持つ重く扱いにくい直刀に対抗する「斬る/払う/突く」小回りの利く騎乗中 の武器の威力に数の上でははるかに勝る蝦夷討伐軍は大苦戦。蝦夷が手にする「蕨手刀」の威力が知れ渡たる。 そのルーツは東国で「道具」として生まれた鉄器といわれるが、諸説あり、よくわかっていない。

大和を中心とした日本の国造りが進む中で、大陸・朝鮮半島から鉄素材や鉄器が輸入されはじめ、大陸・朝鮮半島との交流が進む中で、最大の交易品となる一方、渡来の工人と共に西日本で製鉄が始まるのが5世紀後半。 威信財から武器・道具へと製鉄技術の進歩と共に、日本の隅々まで鉄器が広がってゆく。この間日本に豊富にある「砂鉄」を製鉄原料とする固有の箱型炉が編み出され、製鉄炉の大型化など製鉄技術 & 鉄器加工技術の進歩による鉄素材の品質の多様化・量産体制が整えられてゆく。そして、大和政権の中央集権律令国家体制の確立と国土開発大がさらなる用途拡大をもたらし、日本の隅々まで 鉄文化が花開く奈良・平安時代へ。まだ在地では 小規模小生産の製鉄しかできぬ時代、東国から東北の蝦夷たちも次々と中央集権体制に組込まれてゆく。

この「まつろわぬ人々」蝦夷たちが、中央には見られぬ強力な武器「蕨手刀」を編み出して対抗した。 まだ、よくわからぬ蝦夷たちの製鉄・鉄器生産技術がどう解き明かされるのか? 興味津々で視聴しました。 とりわけ興味津々で視聴したのは東北蝦夷が手にして、征夷大将軍 坂上田村麻呂を悩ました武器「蕨手刀」 それまでの古代刀にはない「撃斬力」と「利便性」に刀の大変革を巻き起こし、現在までにも続く日本刀のルーツとい われる謎多き古代刀。

私の製鉄遺跡探訪問記「和鉄の道」の東北の項にも何度も掲載した謎多き東北の鉄。 また、日本の古代の製鉄技術・作刀技術についても、しっかり頭整理の資料に整理まとめをしようと。 これを機会に謎の蕨手刀・東北の鉄の資料をもう一度調べて、新しい資料も掲載しようとインターネットの検索で⊖ 資料探しをして、製鉄遺跡探訪問記「和鉄の道」の東北の鉄 並びに 日本の古代の製鉄技術・作刀技術 関係の資料 を加えて、頭の整理資料にまとめて、下記添付しました。

≪ 蕨手刀を手に戦った東北の蝦夷に思いを寄せて 古代東北の和鉄の道 資料整理 ≫ インターネット検索で見つけた新しい資料文献を NHK 歴史探偵「日本の刀剣」視聴記録と共に東北の和鉄の道資料整理として 概要を付けて整理添付しました

2022, 8, 20. Mutsu Nakanishi





清水山将軍塚が見下ろす清水寺の舞台のすぐ下 緑に包まれて 蝦夷の族長 阿弖流為と母禮の顕彰神

もう東北に通いだして約50年をすぎるが、東北の人たちの心情に思いを巡らす。

京都清水寺は蝦夷征伐の征夷大将軍坂上田村麻呂が建立した寺で、清水の舞台のすぐ下の境内に東北蝦夷の族長アテルイ・モレの顕彰碑がある。

征夷大将軍として東北の蝦夷と戦火を交えた坂上田村麻呂は夷の族長アテルイと副将モレこそ↩ 東北経営に最も力を発揮してくれると信じ、ふたりの助命を嘆願する。

しかし、願いは聞き入れられず、二人は河内で斬首された。

共に平和を希求し、人々の血を流すことを避けようとした坂上田村麻呂とアテルイとモレ。

田村麻呂 自らの思いを込めて、創建した京都清水寺。 私には思い入れもひとしお。

この精神は、現代の東北の人々にもしっかりとうけつがれているといわれる。**

東北人はこの二人に強く心を惹かれ、北上市の市民憲章には

「あの高嶺 鬼住む誇り その瀬音 久遠の賛歌 この大地 燃えたついのち ここは北上 」 と誇らしく歌う。







断片的には何度も「和鉄の道」に東北の鉄の訪問記を掲載してきましたが、

この番組で 蝦夷の手にする「蕨手刀」に出会って、最新の資料にも目を通して整理せねばと 「蕨手刀」視聴記録と共に 今回インターネット検索で見つけた資料から いつも私にはあやふやだった 下記項目の資料を読み返して 添付収蔵しました。

私にとっては 東国・東北の古代の和鉄の道 目に留まった整理の資料。 ご興味があれば・・・・

○ 東国・東北の鉄と蕨手刀○ 古代製鉄&鍛冶のプロセス技術○ 日本刀の作刀プロセス最近の資料チェックを始めました。2022. 8. 20. Mutsu Nakanishi

蕨手刀に思いを寄せてNHK 歴史探偵「日本の刀剣」視聴記録 2022.8.16.

私の一番の興味は平安時代の8世紀半ばから9世紀 東北の蝦夷たちが手にした「蕨手刀」 反りのある日本刀のルーツといわれ、まだ未開と思われた蝦夷たちが大和政権に対抗した原動力となった 武器 小ぶりの蕨手刀。

手にした「蕨手刀」のほとんどは東北の在地で鉄素材から刀に製作されたと思われる。 まだ中央大和政権の持つ重く扱いにくい直刀に対抗する、「切る/払う/突く」小回りの利く騎乗の武器。 そのルーツは東国で「道具」として生まれた鉄器といわれるが、 そのルーツについては諸説あり、よくわからない。

5世紀半ばに日本で渡来の工人たちと共に製鉄が始まり、威信財から武器・道具へと鉄器生産が日本各地へ広がり、 中央ではその量産体制が整えられ、大きく展開されてゆく平安時代

東北の蝦夷たちはまだ在地には小規模製鉄の小生産しかできぬ時代に、蝦夷たちは中央には見られぬ強力な武器蕨手刀を編み出して対抗した。まで よくわからぬ蝦夷たちの製鉄・鉄器生産技術に興味津々。

中央政権の征夷大将軍坂上田村麻呂と闘った蝦夷の属長「阿弖流為」が手にした武器「蕨手刀」とともに 長引く戦闘比叡の中で、「平和」を願い和睦・投降した阿弖流為とそれを受け入れ、 また、かなえられなかったが、族長としての阿弖流為の働きに助命を願い出た田村麻呂。 そして、自らの思いを込めて、創建した京都清水寺。 私には思い入れもひとしお。

断片的には何度も「和鉄の道」に東北の鉄の訪問記を掲載してきましたが、最新の目で 整理せねばと この番組を視聴記録と最近の資料チェックを始めました。

世は今 空前の「刀剣ブーム」 そんな中で、日本古来の製鉄技術「たたら」と日本 刀の原点「蕨手刀」。そして、それらに携わった工 人・職人たち そして時代を大きく進めた数々のドラマにも目を向けてほしいと。

コロナ禍の中 ロシアのウクライナ侵攻等々世界の分断・対立で平和が脅かされている時代 平和が脅かされる時いつも声をあげ「平和」を訴える清水寺の創建ルーツは坂之上田村麻呂 そして その舞台を見上げる 境内には平和を願い戦った両雄の顕彰ともいう阿弖流為の顕彰碑が立っている。

今年はまだ よう訪ねていないが、一度訪ねねばと思っている。

2022.8.16. 蕨手刀の資料を再整理しつつ

2022.8.16. Mutsu Nakanishi

NHK 歴史探偵2022年4月20日(水)午後10時~「NHK総合]

「日本の刀剣」 古代から現代までの「刀剣」の歴史を調査!

ゲームにアニメに展覧会と人気が続く刀剣の歴史を一刀両断! 古代の刀の科学調査を独占取材。

妖刀村正伝説の真相に迫る! 個性豊かな名刀が続々登場!

ゲームにアニメに展覧会と人気が続く刀剣。その歴史を一刀両断!

個性豊かな名刀が続々登場。古代の謎の刀の科学調査を独占取材!研究者も驚きの結果とは?

あの有名な「妖刀村正伝説」の真相に迫る!見えてきたのは意外な黒幕!

知られざる刀鍛冶・水心子(すいしんし)正秀の偉業もご紹介。

古代から現代までの歴史をたどりながら、日本人と刀剣の、斬っても斬れない深~い関係を徹底調査。

古代刀と蕨手刀

飛鳥時代~奈良時代~平安時代初期に作られていた古代の刀剣。

群馬県の大宮蕨鼓神社では、およそ1300年前の蕨手刀が保存されている。

草木をなぎ倒したり動物をさばく目的で作られたと考えられている。

また、群馬では東日本最古の製鉄遺構も発見されている。

このことからも、群馬は古代において東日本の先進技術が集まっていた

地域ではないかと考えられている。

蕨手刀は後の日本等に影響を与えたと考えられている。

しかし、その製造方法は謎に包まれている。

X線で蕨手刀の内部構造を調査したところ折り返し鍛錬されていない刀剣だった。

日本刀

個性豊かな名刀の数々 福岡一文字派、粟田口派、青江派、長船派、来派

妖刀村正伝説

家康の祖父が殺されたり、家康の父が襲われたり、家康の息子が切腹したり...

これら徳川家の不幸にことごとく「村正」の刀剣が使われていたことから、

家康は村正を捨てさせた…という伝説。

しかし、その一方で実際には家康は村正を保有していたとも伝えられている。

八代将軍・吉宗は家康を高く評価したことから、妖刀村正伝説は都合が良かった。

刀鍛冶 水心子の挑戦

刀鍛冶 水心子正秀の刀剣は大人気だった。

そんな水心子は流行りの華やかな刀作りをやめ、本来あるべき古(いにしえ)の刀を作ることを志した。 水心子は多くの弟子たちに技を教え、広まっていった。



日本刀の源流 蕨手刀□ 東北蝦夷が手にして征夷軍とたたかった蕨手刀 そのルーツは東国 今の群馬県□





古代刀と蕨手刀

飛鳥時代~奈良時代~平安時代初期に作られていた古代の刀剣。 群馬県の大宮蕨鼓神社では、およそ1300年前の蕨手刀が保存されている。 草木をなぎ倒したり動物をさばく目的で作られたと考えられている。 また、群馬では東日本最古の製鉄遺構も発見されている。 このことからも、群馬は古代において東日本の先進技術が集まっていた 地域ではないかと考えられている。

蕨手刀は後の日本等に影響を与えたと考えられている。

しかし、その製造方法は謎に包まれている。

x線で蕨手刀の内部構造を調査したところ折り返し鍛錬されていない刀剣だった。





古代 謎の刀「蕨手刀」初の科学調査に密着







Spring 8 放射光照射による断面解析に用いられた東吾妻町 大宮巌鼓(いわつみ)神社 蕨手刀

「蕨手刀」

刀剣と言えば 日本刀を連想するが、実際は日本で日本刀が登場したのは平安末頃からで、それ以前には日本刀とは 異なる古代刀が存在している。蕨手刀は古墳時代末期から平安初期 主に8-9世紀の古代刀の一種。

その源流は明らかでないが、日本刀の前身となったのではないかとされている。

柄頭が屈曲して、さわらびの巻いた形に似ているのでこの名がある。

鉄製で刀身と茎は共作り。全長 50cm 内外のものが多い。刀身は幅広く、簡素な作りである。

概して古墳の副葬品として東日本からの出土例が多いが、伝世品が正倉院宝物にある。

初期の蕨手刀は直刀であったが、後に柄、さらに刀身に反りを持つようになる。直刀のように突くことを目的としたものではなく、打ち下ろして切るという、後の打刀の始原をなすものであると考えられている。

8世紀半ば 数的に劣る東北の蝦夷が騎馬と共に、蕨手刀を手にして、討伐軍を苦しめた刀でもある。

番組では群馬の蕨手刀を保有している神社を訪問して現品を確認しているが、かなり太めの片刃の特徴で、柄は手で持ちやすいようになっている。そもそもは山刀や鉈として使用されていたのではと言う。

古代蝦夷の東北と共に、東国の群馬周辺でも数多く見つかっている蕨手刀。

元々馬の産地であったこ**の地には高い技術を持った渡来人が訪れていた**という。

またこの地域には製鉄炉の遺跡まで残っているという。

蕨手刀の分布は東国・東北に偏在している。

古い蕨手刀などの先進技術が馬と共にやってきた渡来人によってもたらされたといい、東国群馬県地域が蕨手刀のルーツとみられている。東国・東北と共に馬産地信州からも蕨手刀が出土している。

その後、この蕨手刀は**蝦夷に伝わって武器としての進化を遂げた**という。

この刀を持っていたことで、蝦夷は坂上田村麻呂などの蝦夷征討軍を苦しめることができたのだという。







からび て とう 蕨手刀



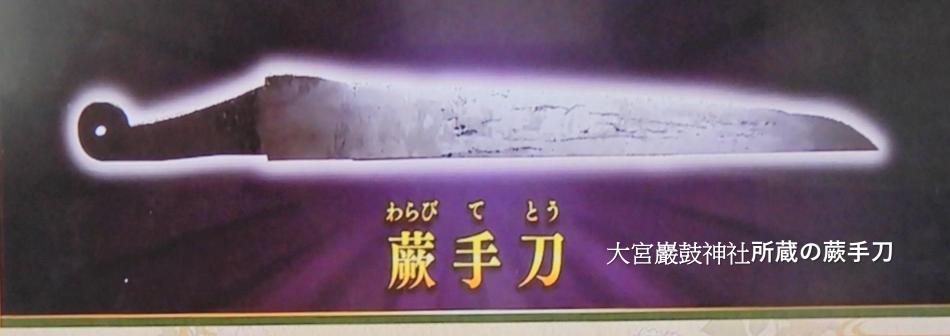




図 蕨手刀から毛抜形太刀への変遷 (石井(昌)-1966より)

日本刀



蕨手刀が製作された時期は7世紀後半から9世紀にかけてのおよそ2世紀の間 その大多数は東北・北海道に集中。馬の産地信州・福島・東国のほか、九州や西国からも 出土する。初期の蕨手刀は馬の産地信州・福島・東国に集中し、 その中心が数多く鉄剣類を出土する「群馬」だった。

当初は「山刀」「鉈」等の日常道具として作られたものであるが、

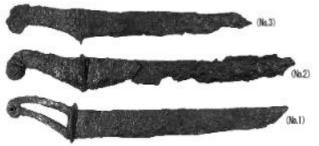
蝦夷が馬上から戦う武器にして、朝廷の征夷軍を悩ませたことから、

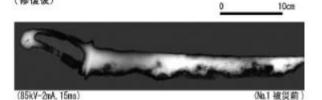
一機に武器としての利便・機能が直視、それまでの直刀武器である古刀剣に応用され、日本刀の原型となった。

蕨手刀の能力を最大限に引き出すのは、

騎乗で片手で振り回せる手軽さと、片刃で柄が刀身に対し湾曲する「斬撃性」 だった。それを極限迄高めたのが…日本刀。そんな背景を持ち、 日本刀のルーツといわれる







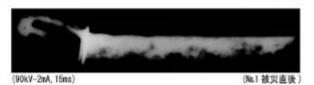


図1 調査した蕨手刀の外観とX線透過写真

51 採取した試料の分析結果

Me	採取位置							化	*	組成	(mass%))							卵金属介		Cu · Ni · C	20三成分比	
150.	See A IT III	T.Fe	Cu	M	Co	Mn	P	As	S	71	Sn	So	Mo	Si	Ca	A1	Mg	V	在物程式	Ce*(Co/Ni)	Cu*(Cu/Ni)	NP (NI/Co)	Ou**(Ou/Co)
,	Sa	67.76	0.000	0.034	0.050	0.004	0.11	< 0.01	0.11	0.096	< 0.01	< 0.01	0.008	0.43	0.011	0.027	0.021	0.002	Itc,(Fa),Gl	1.47	0.59	0.68	0.40
*	Sag	63.49	0.085	0.059	0.103	0.008	0.05	0.01	0.05	0.081	< 0.01	<0.01	0.008	0.35	0.045	0.028	0.025	0.001	Ite,Gl	1.75	0.89	0.57	0.34
Rfl	Sa	61.66	0.084	0.055	0.077	0.009	0.03	< 0.01	0.03	0.065	< 0.01	< 0.01	-	-	0.212	-	0.063	0.002	-	1.40	0.62	0.71	0.44
Dila	Sag	96.21	0.028	0.097	0.148	< 0.001	0.01	< 0.01	0.01	0.005	< 0.01	< 0.01	-	-	0.001	-	0.002	< 0.001	-	1,53	0.29	0.66	0.19
9	Sa	98.52	0.017	0.035	0.068	0.004	0.06	0.01	0.02	0.144	< 0.01	< 0.01	0.008	0.45	0.014	0.081	0.018	0.003	ULGI.	1.94	0.49	0.51	0.25
-	Sag	96.36	0.004	0.020	0.035	0.002	0.10	< 0.01	0.01	0.017	0.01	<0.01	0.001	0.30	0.004	0.025	0.005	0.001	(Wus),Fa,Ma	1.78	0.20	0.57	0.11
	Sa	94.68	0.028	0.061	0.094	0.001	0.02	< 0.01	0.02	0.010	0.01	< 0.01	0.002	0.49	0.004	0.007	0.004	0.001	no	1.54	0.46	0.65	0.30
4	Sag	94.24	0.012	0.047	0.068	0.002	0.06	< 0.01	0.02	0.082	< 0.01	< 0.01	0.001	0.54	0.006	0.008	0.008	0.002	Wus,Fa,Ma	1.34	0.26	0.75	0.19
Rf1	はNo.1 の 2	1000 de 8	100000	st.																			

ren iana 1の 2000年 天沢が1949。 Wus = ウスタイト (Wus) = ウスタイトに近い程度の酸化酸)、Ul= ウルボスビネル(2FeO・TiOs)、Itc=Fe-Ti-Al-Ma-V-O 系化合物(数チタン酸化物)、Fa= 鉄かんらん石(Fa)= 鉄かんらん石と推定される鉱物、Gl= ガラス質ケイ酸塩、Ma= 機能粒子が延生するガラス化した価値。

52 採取した試料に見出された非金屬介在物を構成する鉱物の EPMA による分析結果

No.	探政 位置	iai	構成鉱物	化 学 組 成 (mass%)												合計
NO.	位置	(M)	1件/以第410	Na _i O	P ₂ O ₅	SiO ₂	CaO	TiO ₂	V_2O_3	MgO	Al ₂ O ₃	K₄0	FeO	MnO	Cr ₂ C ₃	(2) (2)
	Sac		Gl(1)	1.62	1.12	40.3	8.20	1.45	0.01	0.29	13.1	2.05	30.3	0.19	0.02	99.58
,		2	Ite(1)	<0.01	< 0.01	0.15	0.12	73.8	1.83	5.58	2.45	0.05	15.3	0.16	0.17	99.61
•	Sag	-	Gl(1)	1.64	0.01	48.2	7.55	7.59	0.02	4.04	11.7	2.15	15.2	0.42	0.05	98.57
			G1(2)	1.54	< 0.01	48.8	7.69	6.55	<0.01	4.21	11.9	2.15	15.3	0.46	0.06	98.64
			U1(1)	0.01	< 0.01	0.05	<0.01	32.5	0.44	1.85	3.10	< 0.01	61.2	0.48	0.15	99.77
2	Sac	3	U1(2)	<0.01	< 0.01	0.07	<0.01	32.4	0.44	1.72	2.92	< 0.01	60.6	0.46	0.15	98.76
-		٥	Gl(1)	0.64	4.33	38.1	14.8	3.57	0.03	0.88	920	127	20.6	0.40	<0.01	93.76
	Sag		Fa(1)	0.07	0.50	24.8	0.19	0.99	<0.01	1.10	0.72	0.11	72.3	0.15	<0.01	100.90
3	Sag	4	Fa(1)	0.08	1.54	28.1	0.74	0.01	<0.01	2.09	0.26	0.12	67.0	0.19	<0.01	100.09

No id書 1 id 始内。

"UI= ウルボスピネル、Itc=Fe-Ti-Al-Mg-V-O 系化合物(鉄チタン酸化物)、Fa= 鉄かんらん石、GI= ガラス質ケイ酸塩。

§3 No.3 に見出された非金属介在物を構成する鉱物の EPMA による分析結果

採取	1991	MA UP AT FIN						化 学	框 成	(mass%)						AN
位置	26	199,00,004,000	Na	P	Si	0	Ca	Ti	V	Mg	Al	K	Fe	Mn	Cr	2011
0.	_	Wus(1)	0.01	<0.01	0.10	22,6	<0.01	0.11	<0.01	0.08	0.22	<0.01	75.7	0.02	0.01	98.86
Sag	١ *	Wus(2)	0.01	0.04	0.13	22.5	<0.01	0.17	<0.01	0.08	0.21	0.05	75.6	0.02	0.01	98.82

No. は表1に対応。

岩手県立博物館紀要30号 2013 赤沼英男 陸前高田博物館所蔵被災蕨手刀金属考古学的解析より http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/kenkyu/data/kenkyu30/no30p1.pdf



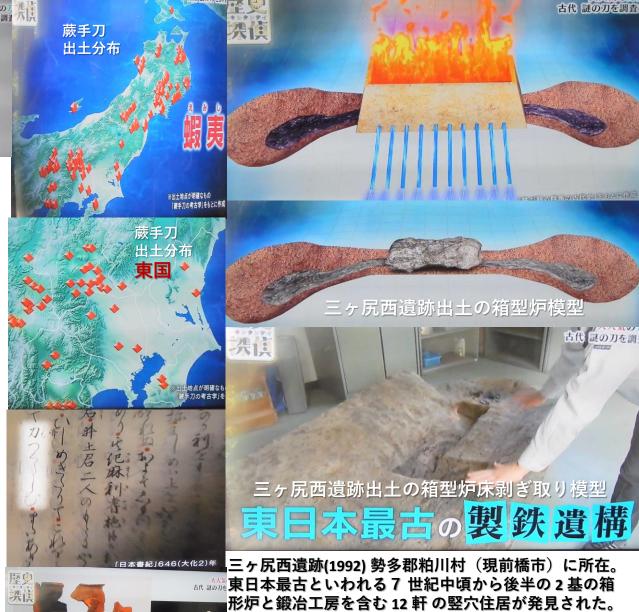
蝦夷が手にした蕨手刀 日本刀のルーツという この蕨手刀は東国特に群馬 で育まれ、蝦夷が手にする 武器として東北に広がった といわれる。 その理由はなぜか?



古い蕨手刀の技術等先進技術は馬と 共にやってきた渡来人によりもたら されたという。馬が日本にやってき たのは5世紀河内がはじめといわれ る。

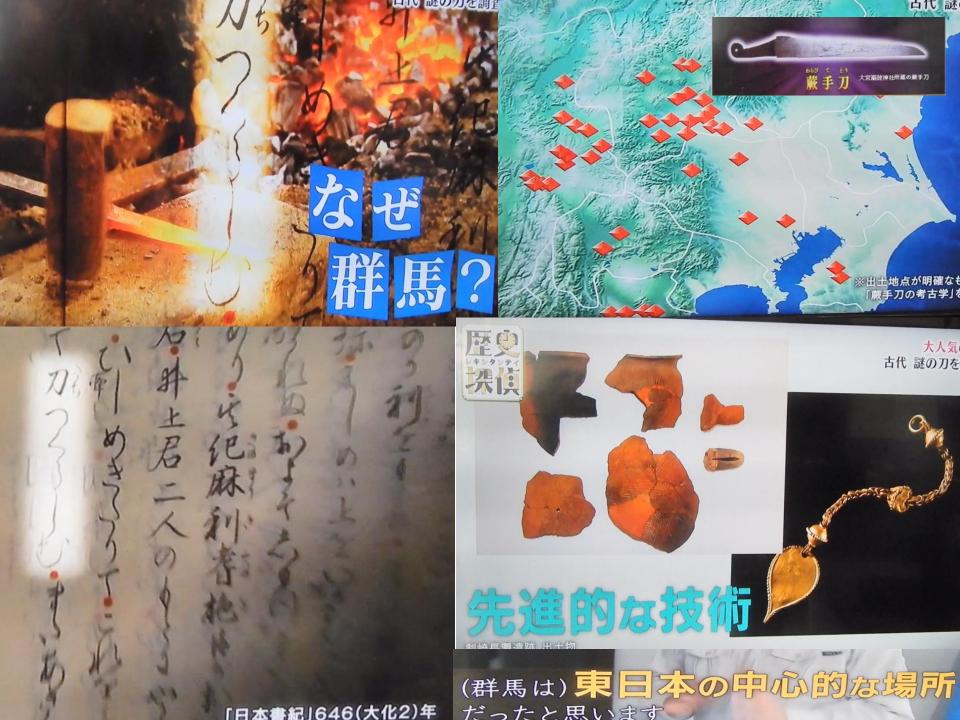
馬産地として展開する東国・信州等 にも北部九州・大和と共に大陸の先 進技術がもたらされた。

そんな東国の先進地が群馬だったの かもしれない。



近年、2基の箱形炉に新旧関係があることが示された。

(群馬は)東日本の中心的庶場所 だったと思います



■ 蝦夷が手にした蕨手刀

この蕨手刀は蝦夷に伝わって武器としての進化を遂げたという。この刀を持っていたことで、 蝦夷は坂上田村麻呂などの蝦夷征討軍を苦しめることができたのだという。





畿内政権と戦った蝦夷国アテルイの武器 蕨手刀の分布

騎馬部隊の存在…

阿弖流為が、何故一次蝦夷征伐で朝廷軍を蹴散らせたか? 圧倒的な騎馬戦力が有ったからではないかと。

それは馬の捕獲数で裏付け可能。

蝦夷38年戦争により、騎馬部隊による斬撃の有効性が立証され たとしたら?

一機にその方向で戦略物資たる、太刀の構造や馬の確保の見直しもやるだろう。やらねば、律令制の完成は無いのだから。

蕨手刀の能力を最大限に引き出すのは、

騎乗で片手で振り回せる手軽さと、片刃で柄が刀身に対し湾曲する「斬撃性」だった。

それを極限迄高めたのが…日本刀。そんな背景を持つ。

■ エミシの38年戦争 774-811

714年~811年までの38年間、北上川を中心に朝廷vs蝦夷の大戦争

蝦夷の38年戦争前夜 既に蝦夷討伐の拠点多賀城がある中、蝦夷の社会では地域首長を軸にした同盟を結んでいたが、朝廷へのエミシの協力も問題無かった。だが、個々の部族に対する朝廷の扱いの違いに疑問を持ち始める長が出て来て、774年に調停に疑問を抱く蝦夷が蜂起。朝廷側協力エミシ vs 非協力勢力の争いに発展し、蝦夷の38年戦争と呼ばれる蝦夷と朝廷征夷軍の大戦争。 朝廷征夷軍は蝦夷が手にする「蕨手刀」の威力に苦しめられた。

◎ 788年、「胆沢合戦」

蝦夷の拠点 胆沢攻略に絞り 約5万の第一次討伐軍派遣、 北上川の東岸, 西岸に約2千づつ軍を分け北上し、巣伏村で、阿弖流為が率いる蝦夷の部族連合軍と激突。 蝦夷連合の族長 阿弖流為は陽動作戦とゲリラ戦を展開し、朝廷精鋭部隊を撃破。その結果として、朝廷軍5万を撃退。 史上で言う「胆沢合戦」。阿弖流為伝説として続日本記に記載されている。

- ◎ 794年 約10万の第二次蝦夷征伐群の派遣 この時 坂上田村麻呂が副将軍として参加。 半年後の報告では、斬首450, 捕虜150, 馬捕獲85(国家年間貢上数105)等々 水沢市の2地区の遺跡の面積80%が焼失痕を残すという大戦果、それでも 蝦夷の拠点胆沢を落とすに至らず。
- ◎ 801年 間髪入れず 坂上田村麻呂を征夷大将軍として 第三次討伐軍派遣 但しこの遠征には 詳しい経過を記した記録がなく 史書に「夷賊討伐」と記されているのみで詳細判らず。 実際には更に北の久慈辺りまで派兵出来ているので、ほぼ制圧完了したと推定れる。 しかし、まだ阿弖流為は倒せては居ない。事実上この第三次討伐で、蝦夷連行軍は かなりのダメージを受けたと推定さ

れる

◎ 802年、朝廷の東北経営の拠点 鎮守府として胆沢城築城

造営中の巨大城柵を見、万策尽きた阿弖流為は5百の兵を従え投降、ここに38年戦争終結… 田村麻呂は都へ阿弖流為らを送る際、助命嘆願し阿弖流為に協力させようとしたが、公家らはその力を恐れ斬刑。 鎮守府が国府がある多賀城から胆沢城に移転した正確な年は不明だが、早ければ建設と同時の802年、 遅ければいったん志波城におかれたとみて812年となる。 また、蝦夷の部族は、ゲリラ戦を展開するも、順次朝廷の支配下に。 捕虜となった蝦夷たちは俘囚として日本各地に数多く送られた。

◎ 811年末 38戦争の終結

嵯峨天皇は811年12月31日 詔を発し、征夷将軍文室綿麻呂に従三位、副将軍佐伯耳麻呂に正五位など軍功者に官位授与 812年1月28日)、征夷将軍綿麻呂は「今官軍一挙して、寇賊遺るもの無し」と述べ、陸奥国の鎮兵3800人を段階的に1000人にまで削減。

軍団兵士を四団4000人から二団2000人に削減する大幅な軍備縮小の実施を奏上。

「宝亀五年より当年に至るまで、惣て三十八歳、辺寇屡動きて、警□絶ゆること無し」と述べて 38年におよぶ征夷の時代が終わったことを宣言する

巣伏古戦場跡 (岩手県奥州市)

左:「古代の戦いと城柵位置図」右:「巣伏(すぶし)の戦い」の想定図

延暦8年(789年)、巣伏村(現水沢市辺り)で、征東将軍紀古佐美(きのこさみ)率いる 朝廷軍と阿弖流為 (アテルイ)率いるエミシ(蝦夷)軍が戦い、朝廷軍が大敗するという事態が起こった





現状考えられている日本刀の起源:「直刀」から「反りのある刀」へ

馬上から片手で切り裂く蕨手刀 : 蕨手刀の威力を見せつけた東北蝦夷の38年戦争

蕨手刀 → 毛抜型蕨手刀(柄に透かし穴付く) → 毛抜型刀「舞草刀」(蕨手の装飾が消える)へ

西国の刀工達がさらに、刀身を伸ばして、毛抜太刀へ発展させ、日本刀へ至ると言う。 歴史的事情と重ねると蕨手刀を手にして大和朝廷軍と戦った東北蝦夷の38年戦争と重なる 38年戦争の終結が9世紀頭 つまり蕨手刀から日本刀への改造は38戦争終結に始まる







江釣子古墳群 江釣子古墳群は五条丸・猫谷地・八幡・長沼の各古墳群からなる、北東北の最大規模の古墳群

直径6~15メートルの円墳が120基以上あり、勾玉、切子玉、蕨手刀、直刀、馬具などがたくさん出土









蕨手刀の分布

騎馬部隊の存在…

阿弖流為が、何故一次蝦夷征伐で朝廷軍を蹴散らせたか? 圧倒的な騎馬戦力が有ったからではないかと。

それは馬の捕獲数で裏付け可能。

阿弖流為の乱により、騎馬部隊による斬撃の有効性が立証されたとしたら? 一気にその方向で戦略物資たる、太刀の構造や馬の確保の見直しもやるだろう。 やらねば、律令制の完成は無いのだから。

蕨手刀の能力を最大限に引き出すのは、

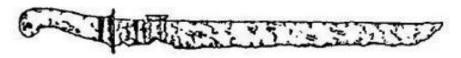
騎乗で片手で振り回せる手軽さと、片刃で柄が刀身に対し湾曲する「斬撃性」だった。 それを極限迄高めたのが…日本刀。そんな背景を持つ。

蕨手刀から日本刀へ

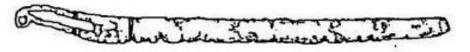
平成9年東京国立博物館は、日本刀は蝦夷の蕨手刀が変化したもので平安中期頃に完成したとの見解を示した。 もちろん異論も存在するであろうが、合理的な推論と思われる。

これによれば、日本刀は直刀から発展したのではなく、

蕨手刀→毛抜型蕨手刀 (810~824頃) →毛抜型刀 (870頃) →毛抜型太刀 (900年代前半) →日本刀 (987頃) という変化を遂げたことになる。



蕨手刀(東京都武蔵野市吉祥寺出土)



毛抜形蕨手刀(岩手県平泉町出土、伝悪路王佩刀)



毛抜形刀 (秋田県五城目町岩野山出土)

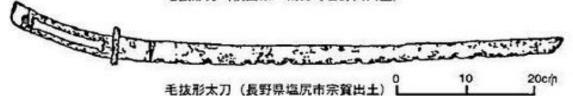
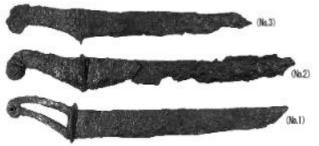
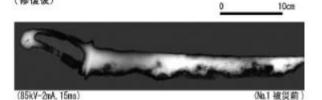


図 蕨手刀から毛抜形太刀への変遷 (石井(昌)-1966より)

「米子(西伯耆)・山陰の古代史」蕨手刀とその発展 http://houki.yonago-kodaisi.com/Touken-Wrabitetou.htmlより







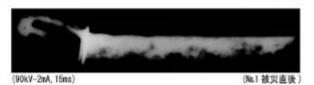


図1 調査した蕨手刀の外観とX線透過写真

51 採取した試料の分析結果

Me	採取位置							化	*	組成	(mass%))							卵金属介		Cu · Ni · C	20三成分比	
150.	See A IT III	T.Fe	Cu	M	Co	Mn	P	As	S	71	Sn	So	Mo	Si	Ca	A1	Mg	V	在物程式	Ce*(Co/Ni)	Cu*(Cu/Ni)	NP (NI/Co)	Ou**(Ou/Co)
,	Sa	67.76	0.000	0.034	0.050	0.004	0.11	< 0.01	0.11	0.096	< 0.01	< 0.01	0.005	0.43	0.011	0.027	0.021	0.002	Itc,(Fa),Gl	1.47	0.59	0.68	0.40
*	Sag	63.49	0.085	0.059	0.103	0.008	0.05	0.01	0.05	0.081	< 0.01	<0.01	0.008	0.35	0.045	0.028	0.025	0.001	Ite,Gl	1.75	0.89	0.57	0.34
Rfl	Sa	61.66	0.084	0.055	0.077	0.009	0.03	< 0.01	0.03	0.065	< 0.01	< 0.01	-	-	0.212	-	0.063	0.002	-	1.40	0.62	0.71	0.44
Dila	Sag	96.21	0.028	0.097	0.148	< 0.001	0.01	< 0.01	0.01	0.005	< 0.01	< 0.01	-	-	0.001	-	0.002	< 0.001	-	1,53	0.29	0.66	0.19
9	Sa	98.52	0.017	0.035	0.068	0.004	0.06	0.01	0.02	0.144	< 0.01	< 0.01	0.008	0.45	0.014	0.081	0.018	0.003	ULGI.	1.94	0.49	0.51	0.25
-	Sag	96.36	0.004	0.020	0.035	0.002	0.10	< 0.01	0.01	0.017	0.01	<0.01	0.001	0.30	0.004	0.025	0.005	0.001	(Wus),Fa,Ma	1.78	0.20	0.57	0.11
	Sa	94.68	0.028	0.061	0.094	0.001	0.02	< 0.01	0.02	0.010	0.01	< 0.01	0.002	0.49	0.004	0.007	0.004	0.001	no	1.54	0.46	0.65	0.30
4	Sag	94.24	0.012	0.047	0.068	0.002	0.06	< 0.01	0.02	0.082	< 0.01	< 0.01	0.001	0.54	0.006	0.008	0.008	0.002	Wus,Fa,Ma	1.34	0.26	0.75	0.19
Rf1	はNo.1 の 2	1000 de 8	100000	st.																			

ren iana 1の 2000年 天沢が1949。 Wus = ウスタイト (Wus) = ウスタイトに近い程度の酸化酸)、Ul= ウルボスビネル(2FeO・TiOs)、Itc=Fe-Ti-Al-Ma-V-O 系化合物(数チタン酸化物)、Fa= 鉄かんらん石(Fa)= 鉄かんらん石と推定される鉱物、Gl= ガラス質ケイ酸塩、Ma= 機能粒子が延生するガラス化した価値。

52 採取した試料に見出された非金屬介在物を構成する鉱物の EPMA による分析結果

No.	探政 位置	iai	構成鉱物	化 学 組 成 (mass%)												合計
NO.	位置	(M)	1件/以第410	Na _i O	P ₂ O ₅	SiO ₂	CaO	TiO ₂	V_2O_3	MgO	Al ₂ O ₃	K₄0	FeO	MnO	Cr ₂ C ₃	(2) (2)
	Sac		Gl(1)	1.62	1.12	40.3	8.20	1.45	0.01	0.29	13.1	2.05	30.3	0.19	0.02	99.58
,		2	Ite(1)	<0.01	< 0.01	0.15	0.12	73.8	1.83	5.58	2.45	0.05	15.3	0.16	0.17	99.61
•	Sag	-	Gl(1)	1.64	0.01	48.2	7.55	7.59	0.02	4.04	11.7	2.15	15.2	0.42	0.05	98.57
			G1(2)	1.54	< 0.01	48.8	7.69	6.55	<0.01	4.21	11.9	2.15	15.3	0.46	0.06	98.64
			U1(1)	0.01	< 0.01	0.05	<0.01	32.5	0.44	1.85	3.10	< 0.01	61.2	0.48	0.15	99.77
2	Sac	3	U1(2)	<0.01	< 0.01	0.07	<0.01	32.4	0.44	1.72	2.92	< 0.01	60.6	0.46	0.15	98.76
-		٥	Gl(1)	0.64	4.33	38.1	14.8	3.57	0.03	0.88	920	127	20.6	0.40	<0.01	93.76
	Sag		Fa(1)	0.07	0.50	24.8	0.19	0.99	<0.01	1.10	0.72	0.11	72.3	0.15	<0.01	100.90
3	Sag	4	Fa(1)	0.08	1.54	28.1	0.74	0.01	<0.01	2.09	0.26	0.12	67.0	0.19	<0.01	100.09

No id書 1 id 始内。

"UI= ウルボスピネル、Itc=Fe-Ti-Al-Mg-V-O 系化合物(鉄チタン酸化物)、Fa= 鉄かんらん石、GI= ガラス質ケイ酸塩。

§3 No.3 に見出された非金属介在物を構成する鉱物の EPMA による分析結果

採取	1991	MA UP AT FIN						化 学	框 成	(mass%)						AN
位置	26	199,00,004,000	Na	P	Si	0	Ca	Ti	V	Mg	Al	K	Fe	Mn	Cr	2011
0.	_	Wus(1)	0.01	<0.01	0.10	22,6	<0.01	0.11	<0.01	0.08	0.22	<0.01	75.7	0.02	0.01	98.86
Sag	١ *	Wus(2)	0.01	0.04	0.13	22.5	<0.01	0.17	<0.01	0.08	0.21	0.05	75.6	0.02	0.01	98.82

No. は表1に対応。

岩手県立博物館紀要30号 2013 赤沼英男 陸前高田博物館所蔵被災蕨手刀金属考古学的解析より http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/kenkyu/data/kenkyu30/no30p1.pdf





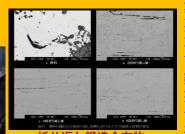


解析画像は鉄素材を折り返し鍛錬されておらず、 同質の一つの鉄素材で蕨手刀にされている。 また、鉄素材の炭素含有量は後の玉鋼に比べ低く 小型の製鉄炉材に思える。 道具? 武器?









折り返し鍛造介在物 分布変化

製鉄作業後の鉄鼠材選別は重 要で精錬鍛冶・大鍛冶と呼ば れる小割・地金づくりが極め

鉄塊に含まれる大型スラグの 分別とそれらの集合体が鉄 材に鍛接されてまとめられる のてべは?

折り返し鍛錬で素材中の大型介在物が除去・延伸分断され、 でも、今回分析された蕨手刀の鉄素材は 小割の集合体ではなさそう。 厚さ方向にも均一になり均質になるが、鍛錬には繰り返し加熱の効果も加わり、 素材によるが、材質改善には効くのは数回という。

一つの製鉄塊からこんなきれいな鉄素材

■ 謎の古代刀・蕨手刀

放射光照射分析で謎に迫る



「刀剣乱舞」などの影響で刀剣展に腐女子が殺到するなど、妙な形で人気となっている刀剣。 それが今回のテーマ。

刀剣と言えば日本刀を連想するが、実際は日本で日本刀が登場したのは平安末頃から。 それ以前には日本刀とは異なる古代刀が存在している。東大寺正倉院にもある蕨手刀。 そんな古代刀が**蕨手刀**と呼ばれる刀。**日本刀の前身となった**のではないかとされている。

番組では群馬の蕨手刀を保有している神社を訪問して現品を確認しているが、かなり太めの片刃の特徴で、柄は手で持ちやすいようになっている。そもそもは山刀や鉈として使用されていたのではと言う。

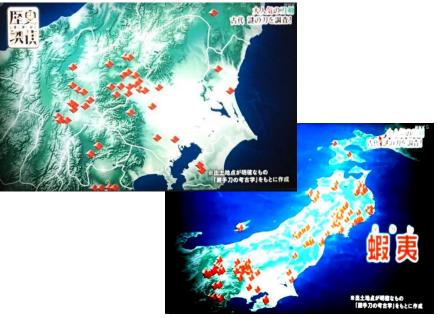
群馬周辺で多く見つかっており、元々馬の産地であった**この地には高い技術を持った渡来人が訪れていた**という。またこの地域には製鉄炉の遺跡まで残っているという。

その後、この蕨手刀は**蝦夷に伝わって武器としての進化を遂げた**という。この刀を持っていたことで、蝦夷は坂上田村麻呂などの 蝦夷征討軍を苦しめることができたのだという。

さらに蕨手刀をSPring-8で調査するということに同行しているが、断面の調査の結果、**蕨手刀の鉄には不純物が少ない**こと、さらに**日本刀のような折り返し鍛錬をしていない**ことが分かったという。

通常の日本刀は折り返し鍛錬によって不純物を減らすのだが、これをせずしてどうやって不純物の少ない刀を作ったのかは 謎であると言う。





3. 古代 謎の刀「蕨手刀」初の科学調査に密着

群馬県東吾妻町大宮巌鼓(いわつみ)神社の蕨手刀のSpring 8 放射光照射による断面解析←















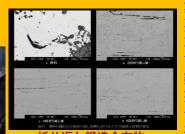


解析画像は鉄素材を折り返し鍛錬されておらず、 同質の一つの鉄素材で蕨手刀にされている。 また、鉄素材の炭素含有量は後の玉鋼に比べ低く 小型の製鉄炉材に思える。 道具? 武器?









折り返し鍛造介在物 分布変化

製鉄作業後の鉄鼠材選別は重 要で精錬鍛冶・大鍛冶と呼ば れる小割・地金づくりが極め

鉄塊に含まれる大型スラグの 分別とそれらの集合体が鉄 材に鍛接されてまとめられる のてべは?

折り返し鍛錬で素材中の大型介在物が除去・延伸分断され、 でも、今回分析された蕨手刀の鉄素材は 小割の集合体ではなさそう。 厚さ方向にも均一になり均質になるが、鍛錬には繰り返し加熱の効果も加わり、 素材によるが、材質改善には効くのは数回という。

一つの製鉄塊からこんなきれいな鉄素材





大宮巌鼓神社 蕨手刀の放射光(佐用 スプリング8)照射による断面解析画像



折り返し鍛錬で見える積層構 造が見えない



一つの鉄塊を折り返し鍛錬せず、そのまま鍛錬成形したもの。介在物の少ない清浄な一つの鉄塊から作られた蕨手刀であることにビックリ

馬産地として馬具製作のため、清浄な鉄素材製造の製鉄・鍛冶技術をすでに蝦夷たちも持っていたのでは…・





介在物が蕨手刀内部で線・層状に延びていないことから、折り返し鍛造なしの鉄素材から蕨手刀? 8・9世紀には在地の鍛冶技術も官営の製鉄所に近い精錬鍛冶技術を有しているとの話もあり、

清浄な鉄素材が在地にもあったとも考えられる。

ふと頭に浮かんだのは馬の産地であること。鉄製馬具と蕨手刀製作技術の結びつき。

騎馬 棒状素材を延ばして作る轡等の繋ぎ接合の強度に介在物は極めて重要。清浄な鉄素材が必要。

馬具製作技術として、清浄な鉄素材を作る精錬鍛冶鍛冶技術の習得も進んでいたにちがいないと・・・。

思いつきではありますが・・…

2022.8. 16. 視聴記録をまとめつつ Mutsu Nakanishi

江釣子古墳群 江釣子古墳群は五条丸・猫谷地・八幡・長沼の各古墳群からなる、北東北の最大規模の古墳群 直径6~15メートルの円墳が120基以上あり、勾玉、切子玉、蕨手刀、直刀、馬具などがたくさん出土





蕨手刀・鉄鏃・馬具



畿内政権と戦った蝦夷国アテルイの武器 蕨手刀の分布





蕨手刀の鉄素材の来歴 まだクリアーになっていない

今回も蕨手刀に関連する製鉄遺跡・鉄遺物報告いくつか読みましたが 結論はブラックボックス

蝦夷が手にする蕨手刀が製作される8世紀後半から9世紀頃 製鉄が始まる5世紀後半から この時期日本のたたら製鉄は画期を迎える。

数多くの渡来の工人が日本にやってきて、製鉄技術が安定期に入り、 鉄素材の量産へ進む時期に当たる。

箱型炉による大型製鉄炉による量産・足踏み鞴送風による高温操業がはじま

り、東国・東北では竪型炉・箱型炉が並立する時代に。

西日本・東国・東北それぞれが影響を受けながら、新しい取組みが始まる 製鉄原料も鉄鉱石・砂鉄原料と選択が広がり、鉄素材も多様化する時代。

蕨手刀の鉄素材もこの時期 複雑である

- 1.船載鉄素材 Cu+(P)
- 2.鉄鉱石原料による鉄素材 不純物にTiを含まず、Cu+(P)を検出
- 3.砂鉄原料による鉄素材 不純物にTiを検出し、Cuを含まぬ
- 4.鉄鉱石原料高温高炭素製鉄素材+砂鉄添加による精錬脱炭処理 Ti, Cu+(P)を検出

少ない蕨手刀の成分分析・製鉄遺跡数等での プロセス確定は厳しい。 研究者によってまだ意見が分かれているようだ。 蝦夷への蕨手刀の製作鉄素材がどこから供給されたのだろうか・・・・ また蝦夷は大量の蕨手刀政策の自前の製鉄工房を保有していたのだろか・・・ 興味津々である。

ずっと頭にある日本たたら製鉄の量産に欠かせぬ砂鉄利用の謎 砂鉄の利用技術は海を渡ってきたのだろうか???? そして、高温操業に欠かせぬ足ふみ鞴の適用時期との重なりとそのルーツも。 この2つの謎が「蕨手刀」にも顔を出していることを初めて知りました。 まだまだ面白い日本のたたら製鉄です

蕨手刀からこの謎が解くてがかりが生まれるかも・・・・と

2022.8.16. Mutsu Nakanishi

東北蝦夷が手にして、征夷大将軍 坂上田村麻呂を悩ました武器「蕨手刀」。興味津々での視聴でした。

それまでの古代刀にはない「撃斬力」と「利便性」に刀の大変革を巻き起こし、現在までにも続く日本刀のルーツといわれる 謎多き古代刀。また、謎の多い古代刀・蕨手刀の科学と調査から日本刀の作刀方法や日本刀のルーツの謎がまた一つ。まだま だ知らぬことが多い古代の和鉄の道と。また 久し振りに東北の鉄に思いを馳せることができ、あれやこれや思い出しながら の視聴でした。

番組は二のあと、その後の個性豊かな刀匠たちの名刀も続々登場、妖刀村正伝説の真相にも迫る話題や江戸時代後期、日本刀の作刀に一大変革をもたらした知られざる刀工・水心子正秀の偉業も。

日本人と刀剣の切っても切れない関係を多少漫画チックな描き方もありましたが従来は謎ばかりが浮き彫りにされてきた「日本の刀剣」について、古代から現代までの「刀剣」の歴史をたどりながら 時代を区切って その時代を代表するエピソード からのわかりやすい概説。うれしい番組。未整理のまま頭に詰め込んだママだった「日本刀剣の歴史」が自分なりにすっきり。

私の製鉄遺跡探訪問記「和鉄の道」に何度も掲載した謎多き東北の鉄。そして、日本の古代の製鉄技術・作刀技術も。 しっかりと頭整理して整理資料にまとめねばと番組視聴を機会に謎の蕨手刀・東北の鉄の資料をもう一度調べて、 新しい資料も加えようとインターネット検索での資料探しを始めています。

まだまだ一部ですが、今回の番組関連として インターネットの検索チェックで新たに見つけた資料などを 私の頭の整理資料としてファイル化して下記添付しました。

≪ 蕨手刀を手に戦った東北の蝦夷に思いを寄せて 古代東北の和鉄の道 資料整理 ≫

インターネット検索で目に留まった資料文献 概要を付けて整理添付しました 私にとっては 東国・東北の古代の和鉄の道 並びにたたら製鉄の整理の資料です。

◎ 東国・東北の鉄と蕨手刀 ◎ 古代製鉄 & 鍛冶のプロセス技術 ◎ 日本刀の作刀プロセス:

4. 蕨子刀 NHK 歴史探偵「日本の刀剣」視聴 関連資料リスト

NHKの蕨手刀番組を視聴したのを機会にインターネット検索等で調べた新しい知見等注目した関連資料整理

インターネット検索で目に留まった資料文献 概要を付けて整理添付しました私にとっては 東国・東北の古代の和鉄の道 並びにたたら製鉄の整理の資料です。

- ◎ 東国・東北の鉄と蕨手刀
- ◎ 古代製鉄 & 鍛冶のプロセス技術
- ◎ 日本刀の作刀プロセス





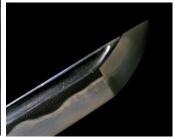








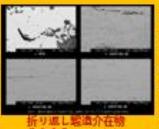












製鉄作業後の鉄鼠材選別は重要で精錬鍛冶・大鍛冶と呼ばれる小割・地金づくりが極め で考察に、

鉄塊に含まれる大型スラグの 排除・炭素含有量の選別小割 分別とそれらの集合体が鉄 材に鍛接されてまとめられる のでがは2

参考

折り返し継续 折り返し継续で素材中の大型介在物が除去・延伸分断され、 厚さ方向にも均一になり均質になるが、継续には繰り返し加減の効果も加わり、 素材によるが、材質改善には効くのは物理という。

でも、合画分析された競手刀の鉄素材は 小割の集合体ではなさそう。

一つの男鉄焼からこんなされいな鉄業材

■ 福島県文化財センタ-白川館 シンポ「鉄の道をたどる」予稿集2020.7.23

https://www.fcp.or.jp/mahoron/pdf/2020/2020_tetu_yokoh%20(1).pdf



第1編 製鉄遺跡研究の到達点		
第1編 最鉄理跡研究の到達点 福島県の製鉄関連遺跡	能營谷官康(公益財団法人福島県文化振興財団)	1
	門脇 秀典(福島県文化財センター白河館)	13
製錬技術の視点からみた横大		29
	板谷 宏(日本鉄鋼協会「鉄の技術と歴史」研究フォーラム顧問)	
第2編 古代鉄生産技術の展開		
群馬県の製鉄遺跡	笹澤 泰史(群馬県地域創生部文化財保護課	43
埼玉県の製鉄遺跡	高崎 直成 (埼玉県ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館)	51
滋賀県の製鉄遺跡	大道 和人 (滋賀県文化スポーツ部文化財保護課)	59
資料編】		
福島県製鉄関連遺跡地図		71
都道府県別・福島県市町村別	製鉄遺跡数	72
福島県浜通り地方の古代・中	世製鉄遺跡の調査年表と製鉄炉数・遺物量	73
福島県浜通り地方の製鉄炉別舗	狭滓・炉壁重量一覧表	74
福島県古代製鉄炉廃滓番付表		77
金沢地区製鉄遺跡群製鉄炉配	7位	78
長瀞遺跡遺構配置図		80
大船舶A遺跡遺構配置図		81
横大道製鉄遺跡「国指定史跡	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	82
横大道製鉄遺跡4・5号製鉄		83
イラスト「竪形炉・箱形炉の!		84
写真 企画展「ふくしま鉄も	がたり」版示風京	85

古代 豊富な製鉄原料があり、大和政権の蝦夷討伐の拠点となった福島の大規模な官営製鉄。 そして 古代東国の鉄文化の先進地 いち早く西国の箱型炉を取り入れ、蕨手刀を生んだ埼玉・ 群馬の古代製鉄。当時 大和政権の中で、大規模量産製鉄の中心的役割を果たした滋賀県瀬田丘陵の製鉄群。

鉄文化を育み、相互に関係しながらたたら製鉄の先進地役割を果たしてきた地域。

日本のたたら製鉄が大きく展開するこの時期のレビューがまとめて眺めることができました。 この時代 大型量産炉を可能とする足ふみ鞴が装着され始める。どんな展開になっているのか 興味津々ですが、結論は失か?。

添付資料 刀剣ワールド 名古屋刀剣ミュージアム編

■日本刀の作り方「日本刀の作り方(作刀方法と鍛錬)」

https://www.touken-world.jp/tips/11767/

- 日本刀の作り方(作刀工程)
- 日本刀の素材
- 「玉鋼」を炭素量で分ける(水減し)
- 鋼を溶かし、塊になるまで叩く
- 鍛錬する
- 硬さの違う鋼を組み合わせ、刀身の構造を作る
- 鋼を引き伸ばし、刀身の形にする
- 日本刀の形に整形する
- 「焼き入れ」をする
- 形を整えて鉛を入れる



https://youtu.be/Z EYvrgCGYY

刀の鉄素材玉鋼のたたら製鉄から刀の仕上げまで、動画も含め、具体的な工程別に詳細に名刀が制作され る作業作業がレビューされ、興味深かった。 よくわからなかった細かな工程がクリアーに。

日本刀の作り方(作刀方法と鍛錬)関連YouTube動画

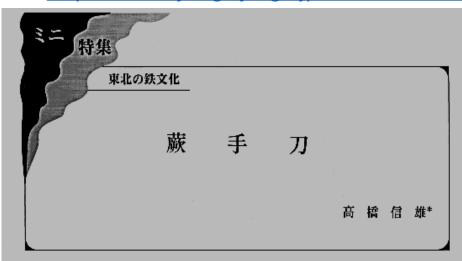




https://youtu.be/crS1xc6qu_c https://youtu.be/CgaUba0aSWQ

【参考文献】東北の鉄文化「蕨手刀」日本金属学会 まてりあ第34巻第10号(1995)

https://www.jstage.jst.go.jp/article/materia1994/34/10/34 10 1144/ pdf



1. はじめに

酸手刀は、柄頭が丸く露曲しており早飲の類に似ていることから名付けられた鉄刀である、蕨手刀の分布は、東日本に著しく偏っており、なかでも東北地方および北海道から多く出土している。製作された時期は比較的短いが、東北の古代史上最大の問題ともいえる蝦夷問題と深くかかわる刀剣でもある。

ここでは、石井昌国によって集大成された「蕨手刀」¹¹¹を 基に従来の研究を軽観し、蕨手刀を多く出土した東北地方北 部の古墳群について述べ、さらに蕨手刀の形態的な分類を示 し、蕨手刀の系譜について探りながら東北地方北部における 軽刀あるいは製鉄の工人集団の存在について触れてみること としたい。

2. 蕨手刀研究小史

蔵手刀の名は、松浦武四郎が「撥雲余典」(1882年)に記 して以降この名が使用されるようになったといわれる。その 蔵手刀最古の発揮記録を紹介したものに星川正南の「公国譚」 (1875年)がある。この発揮記録の原典となった文書が、発 掲記録が記されている蕨手刀と一緒に岩手県盛岡市で発見さ れている[†]・正南の祖父であった南部藩士星川吉寛が、1797 年(寛政9年)に書いたものである。同文書によると、その 瀬手刀は岩手県北上市の江釣子古墳群から出土したもので、 川原石積入状の石室の図が記されている。同様の記録は、柱 川甫周の「桂林邊線」(1800年)にもみられる。東北地方北 部において、特異な形姿をもつこの種の刀剣の田土が、早く から注目されていたことを示すものであろう。

厳手刀が、東北地方に多く発見されていることから、蝦夷 との関連で提える考え方もかなり前から示されている。ここ では、蕨手刀に関する先達の説の機略をみていくこととす る。

鳥居竜蔵は、大正末年に蔵手刀に二種あることを指摘した。柄長に較べ刃長が短く関東・中部地方に多いものと。柄 長に較べ刃長が長いものが東北地方に多く前者が古いとした。

後藤守一は、昭和のはじめ頃、蕨手刀が古墳時代末から奈良時代が盛行期で藤原時代におよんでいることを指摘した。 そして、東山道沿いと陸奥の地に多く出土することから、蕨 手刀は中央に起こって北日本におよんだものであろうとした。

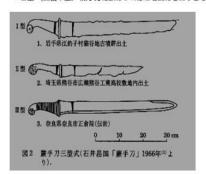
喜田貞吉は、昭和のはじめ頃、北龍道出土の毛抜形碳手刀 について、同型式の蕨手刀が平泉中尊寺にあるとして奥羽地 方から招来した刀剣とし、蕨手刀は、俘囚の所産であると考 えた。したがって関東地方の蕨手刀は俘囚の移配に伴う所持 届であり、正倉院の蕨手刀は和人が和人好みに改良したもの であろうとした。

末永稚雄は、蕨手刀の拵は実用的なものであるから概用者 の身分は高くなく。使用年代を奈良時代から平安時代初期を 下らぬ短期間であろうとした。また、満紫刀や明刀の拵の柄 頭が球状であることから、蕨手刀の滑流の可能性を指摘し た。

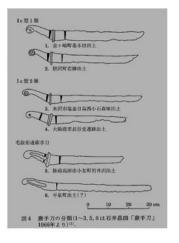
- 1. はじめに
- 2. 蕨手刀研究小史
- 3. 蕨手刀の分布と出土遺構
- 4. 蕨手刀の形態分類
- 5.蕨手刀の系譜
- 6. おわりに

蕨手刀の3形式 (石井昌国の分類1))

- I型 (東北・北海道型) 蕨手刀の80%以上を占める。...
- Ⅰ型 (中部・関東型) 蕨手刀のおよそ15%を占める。
- Ⅲ型 (西日本型) 蔵手刀総数の5%ほどを占めるにすぎない。

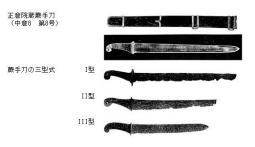


	I型 (東北・北海遊型	正型 (中部・開東型)	耳型 (西日本型)
存在率	80%	15%	5%
作成時間	新しい	書い	中間
造り・検	平造 角棟	平造 角種	揮両刃造で甲造or切刃造り 丸棒
刀長	長寸	短寸	門oriti
反り	柄・刀身に反り	無反りor内反り	無反り
機能	戦闘用	日常携用用	日常携用用



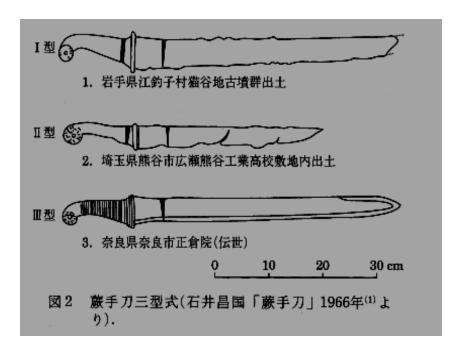
I 型が蕨手刀の8割以上にもなることから,蕨 手刀の編年ないしは地域的特色を探るのに はあまり有効でない。

そこで,筆者は,柄反りと柄の絞りおよび刃反 りに着目し,I型をさらに3分類した

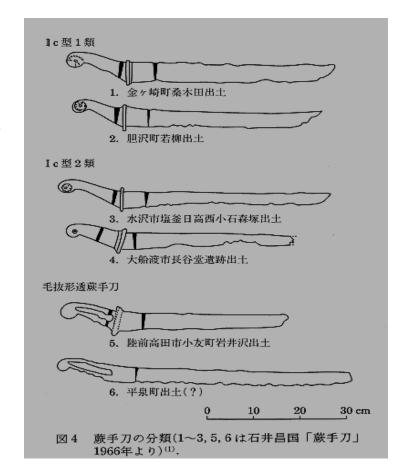


蕨手刀の3形式 (石井昌国の分類1))

- I型(東北・北海道型) 蕨手刀の80%以上を占める。...
- Ⅱ型 (中部・関東型) **蕨手刀**のおよそ15%を占める。...
- Ⅲ型 (西日本型) 蕨手刀総数の5%ほどを占めるにすぎない。



	I 型 (東北・北海道型	Ⅱ型 (中部・関東型)	Ⅲ型(西日本型)
存在率	8 0 %	15%	5%
作成時期	新しい	古い	中間
造り・棟	平造 角棟	平造 角棟	鋒両刃造で平造or切刃造り 丸棟
刃長	長寸	短寸	長or短
反り	柄・刀身に反り	無反りor内反り	無反り
機能	戦闘用	日常携帯用	日常携帯用



I型が蕨手刀の8割以上にもなることから,蕨手刀の編年ないしは地域的特色を探るのにはあまり有効でない.

そこで,筆者は,柄反りと柄の絞りおよび刃反りに着目し,I型をさらに3分類した

資料添付 東国・東北 古代の鉄器・蕨手刀の展開 赤沼英男氏の蕨手刀の金属考古学的解析 研究論文

- 陸前高田博物館所蔵被災蕨手刀金属考古学的解析 岩手県立博物館紀要30号 2013
- ■東北地方北部古代・中世の鉄・鉄器生産と流通 赤沼英男氏 早稲田大学博士論文 1992

岩手県立博物館研究報告 第30号 2013年3月 1~11ページ

陸前高田市立博物館所蔵被災蕨手刀の金属考古学的解析

表沒意果 1. 能公 醫 2

Archaeometallurgical Analysis of Restored Warabite Swords Damaged by the 2011 Töhoku Earthquake and Tsunami

Hideo AKANUMA¹, Masaru KUMAGAI²

1 岩子県文館物館 (20.0120 都国市上田学校開教34 Twate Prefectural Museum Morioka (20.0120 Tanan 2 陳前嘉田市立博物館 029-2201 陳前嘉田市矢作町字二田野 55 香地 Riku Rikuzentakata 029-2201, Japan.

Three Warabite swords were recovered from the Rikuzentakata City Museum, which was devastated by the huge tsunami that occurred after the massive earthquake on March 11th, 2011. The swords were recovered by members of municipal organizations in cooperation with the Iwate Prefectural Museum. The swords were transported to the Iwate Prefectural Museum immediately after their recovery. They were then repaired after a stabilization treatment had been performed on them in order to remove salt and various other contaminants. Considerable deterioration was not observed, partly due to a preservation treatment conducted on them from 1998 to 1999 at the Iwate Prefectural Museum

An archaeometallurgical analysis was carried out by using samples which were collected from each object at the time of the original preservation treatment, which had been conducted from 1998 to 1999. The three swords were believed to have been produced using steel with almost the same composition However, it became clear that the composition of the three swords was different from the composition of other Warabite swords that have been discovered in the northern region of Tohoku and Hokkaido. Based on the results of the archeometallurgical analysis, it is necessary to research the origin of these three swords

1 はじめに

化財・同市小友町岩井沢出土農手刀をはじめとする3 振りの蕨手刀が収載されていた。平成 23 年 3 月 11 日 の東北地方太平洋沖地震発生時には3振りとも展示室 で公開されていて、その後襲突した大津波により全て 流出し行方不明となった。平成23年4月中旬から5 月中旬に行われた、岩手県立博物館考古部門および酸 前裏田市教育委員会職員をはじめとする県内文化財関 係者による懸命の救出活動によって、平成23年5月 6日に3振りとも公開されていた展示室とは別の、1 階収蔵庫内に堆積する土砂の中から発見され、岩手県 立博物館に搬送された。

資料表面はその全域が進水を含む土砂で覆われてい たが、毛抜形農手刀の柄の一部が欠失していたことを

除き、顕著な錆化の進行はみられなかった。救出され 岩手県敵前高田市立博物館には、陸前高田市指定文 た3振りの農手刀はいずれも1996 ~ 1999 年に岩手県 立博物館で保存処理が施されていたため、海水損によ る無速な劣化進行を免れることができたものと考えら れた (赤沼 2012)。 固着する土砂を除去し脱塩処理 を施した後、アクリル樹脂を破圧会得し修復した。 1998 ~ 1999 年に行われた保存処理の過程で微小試 料が採取され、毛抜形震手刀についてはそれを使って 金属考古学的調査が行われた。その結果は岩手県立体 物館調査研究報告書第24 冊に公表されている(赤沼 2009)。それによると、地金の組成、とりわけ採取し た試料に含有される Ni、Co、および Cu の三成分比に、 これまでに行われたほぼ同時代に比定される他の東北 **地方北部出土産手刀とは明確な差異がみられた。製作** に用いられた無金の供給無減が別に確保されていたこ



蕨手刀の鉄素材の来歴 まだクリアーになっていない 今回も蕨手刀に関連する製鉄遺跡・鉄遺物報告いくつか読みましたが 結論はブラックボックス

蝦夷が手にする蕨手刀が製作される8世紀後半から9世紀頃 製鉄が始まる5世紀後半から この時期日本のたたら製鉄は画期を迎える。 数多くの渡来の工人が日本にやってきて、製鉄技術が安定期に入り、 鉄素材の量産へ進む時期に当たる。 箱型炉による大型製鉄炉による量産・足踏み鞴送風による高温操業がはじま り、東国・東北では竪型炉・箱型炉が並立する時代に。 西日本・東国・東北それぞれが影響を受けながら、新しい取組みが始まる 製鉄原料も鉄鉱石・砂鉄原料と選択が広がり、鉄素材も多様化する時代。

蕨手刀の鉄素材もこの時期 複雑である

1.船載鉄素材 Cu+(P) 2.鉄鉱石原料による鉄素材 不純物にTiを含まず、Cu+(P)を検出 3.砂鉄原料による鉄素材 不純物にTiを検出し、Cu を含まぬ 4.鉄鉱石原料高温高炭素製鉄素材+砂鉄による脱酸処理 Ti, Cu+(P)を検出

少ない蕨手刀の成分分析・製鉄遺跡数等での プロセス確定は厳しい。 研究者によってまだ意見が分かれているようだ。 蝦夷への蕨手刀の製作鉄素材がどこから供給されたのだろうか・・・・ また蝦夷は大量の蕨手刀政策の自前の製鉄工房を保有していたのだろか・・・

この研究論文の中でも、蝦夷が手にした蕨手刀や鉄器の地金の分析研究から 多様な来歴ルーツを持つ地金が使われている可能性が報告されている。 38年戦争の時代 砂鉄系&鉄鉱石原料系製鉄 そしてその鉄素材からの蕨手刀の 製作場所はどこだったのだろうか・・ どんな来歴を持つのか。まだ良くわからぬ課題。興味深々です

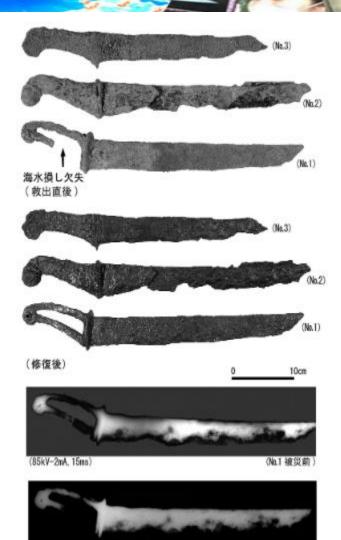


図1 調査した蕨手刀の外観とX線透過写真

(90kV-2mA, 15ms)



1	o. 採取	· //- #							化	# 1	且成	(mass%))							卵金属介		Cu · Ni · C	6三歳分比	
1	0. 5544	A INC.	T.Fe	Cu	N	Co	Mn	P	As	S	Ti	Sn	So	Mo	SI	Ca.	A1	Mg	V	在物程或	Cef (Co/Ni)	Cu*(Cu/Ni)	NP (NI/Co)	Os(OT/C9)
ě.	S	Sa,	67.76	0.000	0.034	0.050	0.004	0.11	< 0.01	0.11	0.096	< 0.01	<0.01	0.008	0.43	0.011	0.027	0.021	0.002	Itc,(Fa),Gl	1.47	0.59	0.68	0.40
	S	ing .	63.49	0.085	0.059	0.103	0.003	0.05	0.01	0.05	0.061	< 0.01	<0.01	0.008	0.35	0.045	0.028	0.025	0.001	Ite,Gi	1.75	0.59	0.57	0.34
Ε.	S 5	ia,	61.66	0.084	0.055	0.077	0.009	0.03	< 0.01	0.03	0.065	< 0.01	< 0.01	-	-	0.212	-	0.063	0.002	-	1.40	0.62	0.71	0.44
K	S	ing .	96.21	0.028	0.097	0.148	< 0.001	0.01	< 0.01	0.01	0.005	< 0.01	< 0.01	-	-	0.001	-	0.002	< 0.001	_	1.53	0.29	0.66	0.19
8	S	ie,	98.52	0.017	0.035	0.068	0.004	0.06	0.01	0.02	0.144	< 0.01	< 0.01	0.008	0.45	0.014	0.081	0.018	0.003	ULGL	1.94	0.49	0.51	0.25
1	S	ia _a	96.36	0.004	0.020	0.035	0.002	0.10	< 0.01	0.01	0.017	0.01	<0.01	0.001	0.30	0.004	0.025	0.005	0.001	(Wus),Fa,Ma	1.78	0.20	0.57	0.11
П,	S	ie,	94.68	0.028	0.061	0.094	0.001	0.02	< 0.01	0.02	0.010	0.01	< 0.01	0.002	0.49	0.004	0.007	0.004	0.001	no	1.54	0.46	0.65	0.30
1	S	Sa ₂	94.24	0.012	0.047	0.063	0.002	0.06	< 0.01	0.02	0.082	< 0.01	< 0.01	0.001	0.54	0.006	0.008	0.008	0.002	Wus,Fa,Ma	1.34	0.26	0.75	0.19
To The	fl ldWs	102	009 66.6	P 会 标 就	st.																			

『Wus =ウスタイト ((Wus) = ウスタイトに近い程度の酸化酸|、Ul= ウルポスピネル(2FeO・TiOs)、Ite=Fe-Ti-Al-Mg-V-O 系化合物(数チタン酸化物)、Fa= 鉄かんらん石((Fa)= 鉄かんらん石と推定さきる鉱物)、Gl= ガラス質ケイ酸塩、Ma= 機能粒子が現在するガラス化した領域。

52 採取した試料に見出された非金屬介在物を構成する鉱物の EPMA による分析結果

No.	採取 位置	8	構成鉱物					化	学 組	成 (mas	a%)					合計
NO.	位置	(M)	1# AX 96/10	Na _i O	P_2O_8	SiO ₂	CaO	T10;	V_2O_3	MgO	Al ₂ O ₃	K₄0	FeO	MnO	Cr ₂ C ₃	201
	Sac		Gl(1)	1.62	1.12	40.3	8.20	1.45	0.01	0.29	13.1	2.05	30.3	0.19	0.02	99.58
١,		2	Ite(1)	<0.01	< 0.01	0.15	0.12	73.8	1.83	5.58	2.45	0.05	15.3	0.16	0.17	99.61
٠.	Sag	-	Gl(1)	1.64	0.01	48.2	7.55	7.59	0.02	4.04	11.7	2.15	15.2	0.42	0.05	98.57
			G1(2)	1.54	< 0.01	48.8	7.69	6.55	<0.01	4.21	11.9	2.15	15.3	0.46	0.06	98,64
			U1(1)	0.01	< 0.01	0.05	<0.01	32.5	0.44	1.85	3.10	<0.01	61.2	0.48	0.15	99.77
12	Sac		U1(2)	<0.01	< 0.01	0.07	<0.01	32.4	0.44	1.72	2.92	<0.01	60.6	0.46	0.15	98.76
- 4		٥	Gl(1)	0.64	4.33	38.1	14.8	3.57	0.03	0.88	9.20	127	20.6	0.40	<0.01	93.76
8	Sag		Fa(1)	0.07	0.50	24.8	0.19	0.99	<0.01	1.10	0.72	0.11	72.3	0.15	<0.01	100.90
3	Sag	4	Fa(1)	0.08	1.54	28.1	0.74	0.01	<0.01	2.09	0.26	0.12	67.0	0.19	<0.01	100.09

No は書1は対応。

■'Ui= ウルポスピネル、Itc=Fe-Ti-Al-Mg-V-O 系化合物(鉄チタン酸化物)、Fa= 鉄かんらん石、Gi= ガラス質ケイ酸塩。

■表3 No.3 に見出された非金属介在物を構成する鉱物の EPMA による分析館果

架取	1905	構成鉱物					1	化 学	框 成	(mass%)						A#4
位置	26	199,000,004,100	Na	P	Si	0	Ca	Ti	v	Mg	Al	K	Fe	Mn	Cr	10 10 1
P.		Wus(1)								0.08		< 0.01	75.7	0.02	0.01	98.86
Sag	4	Wus(2)	0.01	0.04	0.13	22.5	<0.01	0.17	<0.01	0.08	0.21	0.05	75.6	0.02	0.01	98.82

No. は表1に対応。 Www.p. スタイト

(No.1 被災直後)

岩手県立博物館紀要30号 2013 赤沼英男 陸前高田博物館所蔵被災蕨手刀金属考古学的解析より http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/kenkyu/data/kenkyu30/no30p1.pdf

資料添付 広島大学図書館所蔵論文 広島史学研究会 史学研究No.228 2000.6.30.

武士形成における俘囚の役割 龍彦氏

蕨手刀から日本刀への発展/国家と軍制の転換に関連させて

https://ir.lib.hiroshimau.ac.jp/files/public/2/29913/20141016173143909038/SigakuKenkyu 228 1.pdf

武士形成における俘囚の役割 (下向井)

か。

小学校から高校までの教科書は、

有力農民が開発所領

上げて、

配階級として君臨した武士は、

鎌倉幕府の成立から江戸幕府の滅亡まで七〇〇年の間、

いつどのようにして登場した≧の滅亡まで七○○年の間、支

を守るために武装して武士になったと自財のように説明して

論は、 **事指揮権の発動である「追捕官符」に着目して国衙軍制のし** 軍制」論を提起し、これを継承した下向井は、中央政府の軍時代の国猫の軍事編成を通して成立・成長したという「国衙 ことによって、 りはるかに遅れて、 なる 一九六〇年代後半、 しかし戦後の主導学説であったこの「武士=在地領主」 在地領主的実体の成立が、 完全に破綻した。 一一世紀後半であることが明らかになる 戸田芳実・石井進両氏が、 一〇世紀前半の平将門らよ 武士は平安

武士の中心兵器は弓矢だけではない。

勝敗・生死を決する決

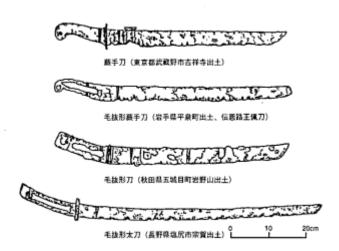
問題の所在

武士形成における俘囚の役割

蕨手刀から日本刀への発展/国家と軍制の転換に関連させて

向 龍

である。 士の武芸や武器の起源も近衛官人の武芸・は、都を葬台に、灭皇を警護する近衛官人 乗馬は戦場まで赴くためである。 が成長していったことを明らかにした。 ために考案されたものではなく焼き反りから生まれた。 騎打ち戦術は『平家物語』が生み出した虚構である。 本馬は大鎧を着た重い武士を乗せて疾駆できない。 武装を重視する観点を軍制論から切り離して継承した最近の 「武士=職能人」論は、 ところで戸田・石井両氏の「国衛軍制」論にみえる武芸や 「武士=職能人」論がとくに重視するのが弓矢であるが、 常識的武士像を根本から否定する。すなわち小型日・職能人」論は、日本馬・和弓・日本刀の一面を取り 天皇を警護する近衛官人 日本刀の反りは馬上戦闘の 武器にある、 から生まれた。 武士の一 武士の



蕨手刀から毛抜形太刀への変遷 (石井(昌)-1966より)

蕨手刀から日本刀への発展の歴史やその地域性を含め、 武器としての強さが具体的に論述されている。 この蕨手刀を手にした蝦夷や俘囚として国に組み込まれ、 戦さに挑んだ俘囚たちの姿と役割が、俘囚集団社会の分析。 それらを通して、武士形成に至る軍制・社会転換への道が 明らかにされた研究論文。

蝦夷が手にした「蕨手刀から日本刀への展開」の話は聞き及んでいま 確りとは知らず。 蕨手刀がもたらした具体的な役割・軍 社会変革への道筋に取り組んだ研究。

たたら製鉄に結び付けての視点し 知りたかった蝦夷か ら俘囚の世界 大変参考になりました。 か知らなかった世界

Mutsu Nakanishi 2022, 8, 18,

(5) 俘囚の戦術―藤手刀―

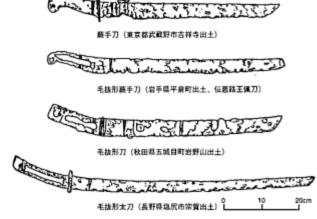
軍を圧倒した。 河は阻止され、深く侵入した精鋭は前後に敵を受けて壊滅し 渡らせ胆沢全域を制圧する作戦を敢行した。 指導者アテルイの本拠を一気にたたき、そのあと本隊数万を 第二次遠征軍は、 の英雄的戦士である、と政府に報告した。延暦八年(七八九)、 ってきては挑発し、攻めたら山林に逃げ込み、放置すれば「城 と舌を巻いている。天応元年(七八一)五月、第一次遠 蝦夷の戦士たちであった。 一人の蝦夷戦士に公民兵士数十人が束になっても敵わな 蝦夷武装勢力の戦術について、 リラ的な騎馬個人戦術をもっとも得意とした 精鋭四○○○人に北上川を渡らせ蝦夷勢力 連携・果敢さにおいて、 とりわけ伊佐西古らは、「一以当千」 陸奥国現地軍は、「弓馬戦闘」 蜂や蟻のように集ま しかし本隊の渡 蝦夷騎兵は政府

である。 東塚と呼ばれる積石塚古墳から出土する。蕨手刀の名前は、 蝦夷勢力の拠点岩手県胆沢地方にもっとも濃密に分布し、蝦 が、蝦夷戦士の蕨手刀と政府軍兵士の直刀である。蕨手刀は 蝦夷騎兵戦術と政府軍の騎兵戦術との相違を端的に示すの

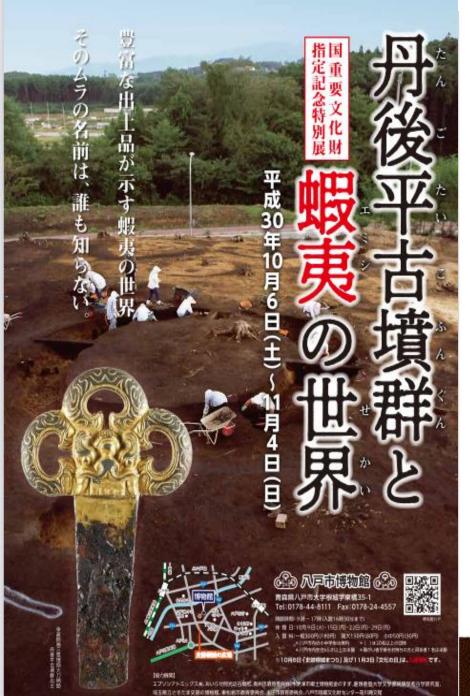
騎馬個人戦は、弓矢で始まり、刀でり折りとい、します、 焼き入れも、強烈な衝撃に耐えさせるための技法である。 深く斬り込めるところにある。刀身と柄が一体の共鉄柄も、 である(図)。すなわち蕨手刀は、直刀ではなく彎刀である。 にある(図)。すなわち蕨手刀は、直刀ではなく彎刀である。 にある(図)。すなわち蕨手刀は、直刀ではなく彎刀である。 にある(図)の機能は、馬を疾駆させながら相手に斬りかか は、真っ直ぐな刀身に対して柄が外側に反っている「柄反り」 は、真っ直ぐな刀身に対して柄が外側に反っている「柄反り」

騎馬戦士の強さの秘密の一つ うことは困難であろう。 相手に致命傷を与えることは困難で、 元から折れる心配がある。 の反動を吸収できないから深く切り込めず、斬撃の衝撃で柄 て強化された斬撃力と共鉄柄の強度は、 しい斬り合いに耐える。折れる心配はない。 ないと戦えない直刀の戦術的格差は比較にならない。 直刀の柄は細い茎 は追いぬきざまの斬り合いで勝敗は決する。柄反りによっ 騎馬個人戦は、弓矢で始まり、 勝者が敗者の首を掻き斬ることで終了する。 (なかご) に取り付けられている。 疾駆しながら戦える彎刀と、 馬を疾駆させながら激しく斬り合 刀での斬り合い、組み討ち 疾駆斬撃戦を可能にする蕨 すれ違いざまの、 疾駆する馬上での激 いっぽう政府軍 弓矢で 馬を止 ある 斬撃

> 式を作り上げることは不可能である。私は、 身につけた騎馬斬撃戦術に変わりはない。 に移配される俘囚には主としてⅢ型が持たされたのではなか 東中部方面に移配される集団には主としてⅡ型、西日本方面 劣る。日常携帯用だろう。 Ⅲ型は疾駆斬撃戦術からいえば、 実戦向きである。 東北蝦夷社会ですでに存在したものと考える。I型は激烈な ばらばらに移配された俘囚が広範囲の地域的共通性をもつ型 **らか。Ⅱ型Ⅲ型の携行しか認められなかっ** なら、関東以西で独自に発展していった型式とは考えにくい。 でも少数ながら出土している。Ⅱ型Ⅲ型が俘囚のものである 全体の八二%を占める。 鋒両刃造りで、切刃造りと平造りがあり、単寸で刀身 またI型を所持させることを危険視したのではなかろ 単寸で刀身は無反り。全体の一四%。Ⅲ型=西日本 柄の反りは浅い。 蝦夷本来の戦闘用の蕨手刀であろう。 内国では激烈な武力行使は想定されて 五%に満たない。 俘囚が移配されるに当たって、関 Ⅱ型=関東・中部型も平作 **I型に比べ機能ははるかに** た俘囚ではあるが 右の三類型は、 Ⅱ型Ⅲ型は東北 型型



』 蕨手刀から毛抜形太刀への変遷(石井(昌)ー1966より



精巧なる装飾品。

墓前祭祀の土器、鉄製の大刀、 豊富な出土品が示す蝦夷の世界

かつて、八戸には「蝦夷」と呼ばれた人々の ムラがありました。ムラの有力者や家族は、刀や 玉を身に着け、小さな円道に葬られました。

丹後平古墳群は、飛鳥時代中頃から平安局 代につくGれた「蝦夷」の墓です、多様な刀類や 馬貝、瑪瑙・水晶・ガラス玉を使った装飾品、北 方にルーツをもつ襲製品、律令国家でつくられ た和同開珎といった豊かな副葬品は、この地に 住んだ「蝦夷」がさまざまな地域と交流していた ことを物語っています。

しかし、中央の記録には、このムラに関する記 述はありません。

今年3月、丹後平古墳群出土品が国重要文 化財に指定されたことを記念し、改めて出土品 を一堂に会し、最新の研究成果から「蝦夷」の 世界を組解いていきます。

そのムラの名前は、瀧も知らない。

30 10 月













月

1. 使用对古地的15. 上四寸(功率)2. / 古高科提的 - 市都希望最大力构和 / 水还市面自委员会联 - 工辦場 前提大力解码。"哈马的女士也在北京建建中国的政府,亚月珠平古特部为1号珠玉和庄士郑宏、共行庙平古 **研想11年前九上工程 子院及び石格的九上工場物像/企業高級九分離 カガラス工具的/水江の教育** 素衍之 《格尔塔翰》集中4条次表明之前,米大水黄公郎前11号斯的北军造物的上北京/美比自台代 市場おの選択をよが得り始まる場合は大力を大品、下回的を増上が物理会の下す金

ンポジウム

改めて出自をさぐる! 獅囃三昇環頭大刀柄頭 国内に何のない傾面は、どこで作られ、なぜこの地にもたらされた

のか、最新の研究成果からさぐります。

日時:10月28日(日)10時30分-15時30分

会場:八戸市公会堂文化ホール OUPMEN-THI-1

定員:400名 参加費:無料

調師: 前肝英男氏 (2018/2008) 天谷 见二 氏 (1988)246(216)46)

成績 正和 氏 (9002年(965年) 蘇澤 敦氏(600人/00/2/16/8/80) コーディネーター: 菊地 芳朗 氏 (第9人中)

802

||休除講座「勾玉のベンダントをつくろう!|

日時: (010月8日(月) ②11月3日(上·初) 各日10時一・14時一

会場:八戸市博物館(体験学習室) 定荷:各州先着20名 对象:小学生以上

参加費:材料代300円

おでかけ体験講座「古代のガラス玉づくり体験!」

日時:10月13日(土) 10時-15時30分 会場:八戸市博物館・おいらせ阿光坊古墳館(パス移動) 定員:16個 対象:小学生以上の親子・一般 額値:おいらせ同光切古墳館 朝長 小谷地 筆氏 参加費:材料代350円+オリジナル占債弁当1人700円

お別属ギャラリートーク

日称: ①10月6日(土) ②11月4日(田) 各日14時~ 会場:八口市博物館

*当日、直接会場へ、(申込不費) *人類料別途

🚳 八戸市博物館 🚳



使[八戸市博物館 (八戸市大学模型字業指35-1) 1a:0178-44-8111 堰]八户市博物館 2 期 特別展示室・講義室 [開節時報] 9 時~ 17時(入館は16時30分まで) [休 義 日]10月9日(火):15日(月):22日(月):29日(月)

エアソンアトミックスキ、おいらせ阿光坊占備度、房村市教育委員会、木便事務施士等教師会のすず、商品義設大学文学提民族学考古学研究室、埼玉完立ささたま史等の博物館、 東松海市表面委員会、本生布教育委員会、八戸市博建文化財センター提川博文館

https://hachinohe-city-museum.jp/wpcontent/themes/hcm/images/goods/TGTsymposium.pdf

青森県丹後平古墳群出土品 重要文化財指定記念シンポジウム 改めて出自をさぐる!獅喘三累環頭大刀柄頭 資料 集

八戸市博物館 平成30年10月28日

末期古墳の出土	:遺物が	いら見	える交流	の諸相	٠			٠	٠		٠					٠	•	٠	3
藤澤	敦	氏	(東北大	学総合	学術	博物	勿館	()											
丹後平古墳群出	出土金加	国器の	の材質と製	作技法	•	•	٠.	•	٠	•	٠	•	•	٠	*	٠	٠	٠	11
赤沼	英男	氏	(岩手県	立博物	館)														
東アジアの古代	代黄銅	関係。	品について									٠	٠				•	٠	27
成瀬	正和	氏	(東北芸術	「工科ナ	(学)														
節哺環頭大刀と	と金銀	装大ス	刀の製作と	流通							٠				٠				33
大谷	晃二	氏	(島根県立	松江北	高等	学学	校))											
附章																			
末期古墳を知	る道標	~	丹後平古墳	土出籍	:品0)重	要	生と	À	知	1見	~	8						45
横須	賀 倫	達	(文化庁:	文化財	% —	課	5古	資	料	部	""	3	文化	E	lt.	III:	在	官)

獅嘯三累環頭大刀柄頭は、八戸市自山台にあります丹後平古墳群から、昭和 61年に出土しました。丹後平古墳群は、飛鳥時代中頃から平安時代につくら れた「蝦夷」の墓です。

金銀で装飾されたこのような柄頭を装着した大刀は、中国にルーツをもち、 古墳時代に朝鮮半島と日本で流行したものです。獅子の顔が表現された獅喘環 頭大刀の出土は東北地方初であり、三累環との組み合わせは例がないことから、 大きな話題となりました。

出土から30年が経ち、今年3月に柄頭を含む「丹後平古墳群出土品」が国 重要文化財に指定されました。指定に先立って実施された科学分析により、黄 銅という他に例のない金属を地金としていること、鍍金と象嵌を組み合わせた 高度な装飾がなされていること、柄木の年代など、新たな知見が多く得られま した。

しかし、この柄頭がいつどこで作られ、なぜこの八戸の地へもたらされたの か。柄頭を供えられた墓の主はどういった人物だったのか。柄頭をめぐる謎は 一層深まるばかりです。

本日のシンポジウムでは、末期古墳、金属考古学、古代の黄銅製品、獅嘴環 頭大刀などについて、さまざまな分野の専門の先生方から御講演をいただき、 最新の研究成果から舞噛をめぐる謎や八戸の古代社会について、皆様と一緒に 考えたいと思いますので、よろしくお願いします。

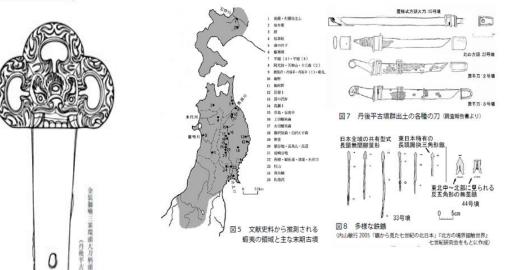
> 蕨手刀の鉄素材・刀の製作にはまだまだ謎が多い。 東国との交流などまだまだよくわからぬ点が多い。

まだ大和中央政権の勢力が及ばぬ北東北八戸の蝦夷の墓 八戸丹後平古墳群が蕨手刀・直刀等数多くの鉄製品が出土





出典:「集行 2013]=376 一部四個

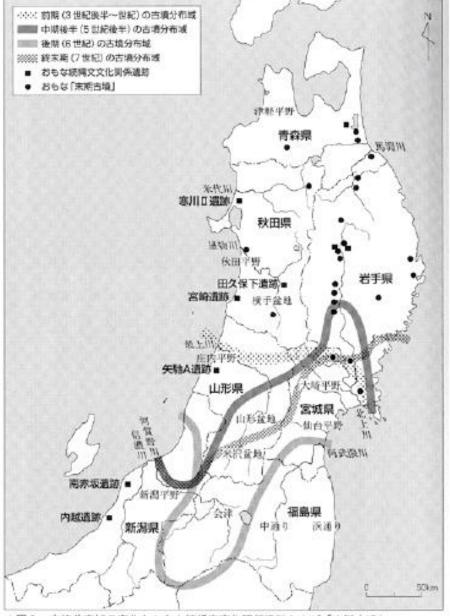


また、蝦夷たちの製鉄・鍛冶工房と蝦夷たちの経済力と流通 謎の多い蕨手刀である。

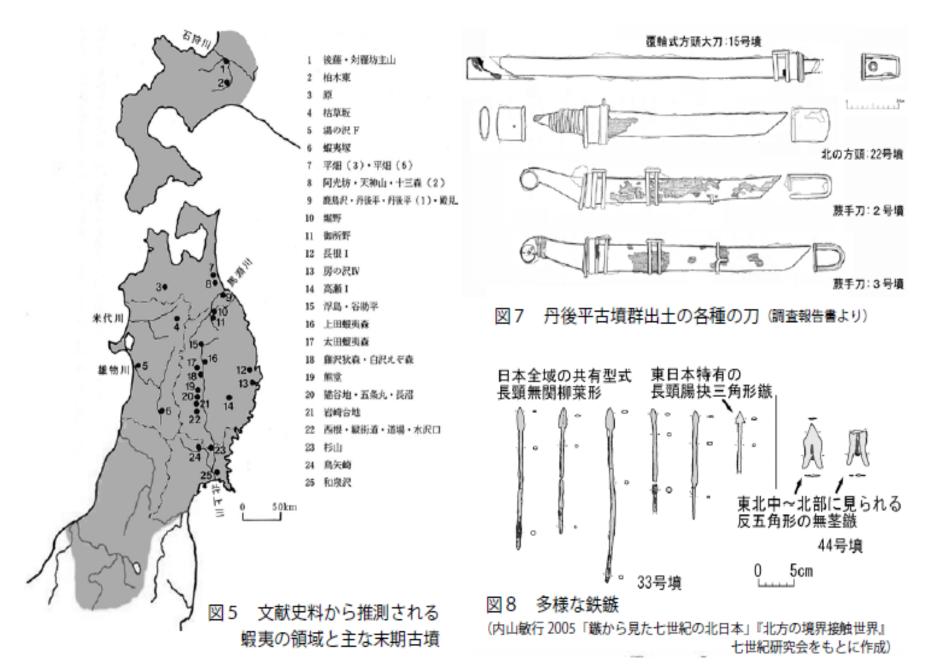
	南東北	北東北
	古墳文化	続網文文化
住 居	方形堅穴住居 宮城県岩沼市北京道路 17号住居的平面図 (宮城県教育委員会提供)	平地式住居? 古墳時代併行期の統織文文化では整大住居 がほとんど発見されていない。ごく後い整 欠住居か平坦式住居と考えられる。
土 師	土師器 文様のない表面の上替・様々な彩 宮城県協会市伊吉田通路第14住居路出土土器 (知台市教育委員会第・信台市博物館提供)	続縄文土器 北海道の土器と同じ文様 深体がほとんど 林田県前代市専用国流跡 3号土場最出土土器 弥生時代設定に併行する時期のもの (5)田県建蔵文化財センター戦)
道具類	鉄器 木製農耕具	石器 + 鉄器 無曜石製石器を多用 当手用風州市中半入道時で出土した周曜石製石器 直域現北圏が産地の開曜石 (公対) 岩手用文化振興事業回律数文化財センター数)
水産遺跡	水田遺構 (窯跡)	
墓	前方後円墳をはじめとする古墳 を元整備された宮城県山台市連見郷古墳 南東北には大型の前方後円滑も等語される	平面形が楕円形の土壌草 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	(仙台市教育委員会蔵・仙台市博物館提供)	(外田州埋蔵文化財センター蔵)

▲図1 古墳文化と続縄文文化の主要文化要素の対比 両文化の違いを模式的に示し たもの。各文化のなかにも様々な変異がある。

出典:各調資報告書·他台市史考古資料編



▲図2 古墳分布域の変化とおもな続縄文文化関係遺跡および『末期古墳』 出典:[藤沢 2013]p.376,一部改変



藤澤 敦氏(東北大学総合学術博物館)末期古墳の出土遺物から見える交流の諸相より

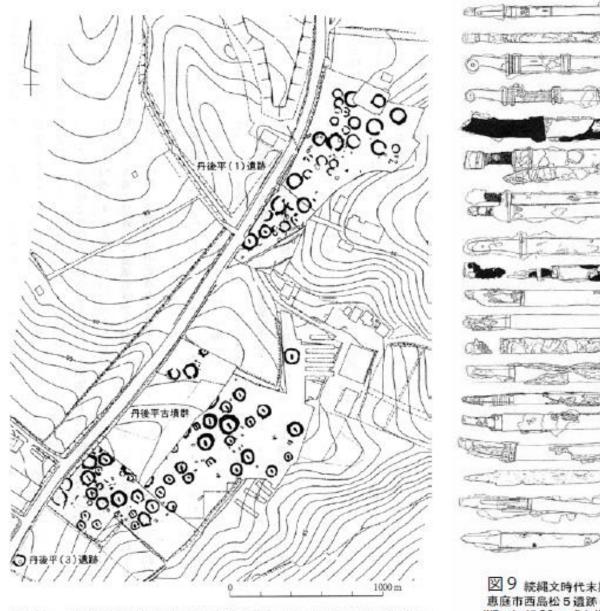


図 6 青森県八戸市丹後平古境群の分布 (八戸市埋蔵文化財調査報告 書第93 集より、一部改変)



図 9 続縄文時代末期の墓から出土した本州産鉄製品 恵庭市西島松 5 遺跡(北海道埋蔵文化附センター 2002・2003) (瀬川拓郎 2011 「古代北海道の民族的世界と阿倍比羅夫遠征」 『海峡と古代蝦夷』より引用)

No.	資料名	出土地	摘出	Cu ·	Ni • C	o三成	讨分比	非金属介在物	Х	(線C)	Γ による測定結果		
IVO.	其科石	出土地	部位	Co*	Cu*	Ni**	Cu**	組成	短径	長径	短長径比	鎺の位置	
1	直刀	青森県八戸市丹後平	Eg	0.80	0.60	1.25	0.75	no	14.0	39.0	0.36	中心	
1	(方頭大刀)	15 号墳主体部	Rg	0.75	0.46	1.33	0.61	no	14.0	39.0	0.30	ጥሙ	
2	直刀	青森県八戸市丹後平	Eg	3.00			0.12	XT、Ma	12.5	30.2	0.41	中心より棟	
2	E.77	22 号墳主体部	Rg	2.03	0.74			XT, XF, Ma	12.5	30.2	0.41	するいより休	
3	直刀	青森県八戸市丹後平	Eg	8.67	10.0		1.15		15.0	27.0	0.56	中心より棟	
	E.77	30 号墳土擴	Rg	7.00	3.40			Cu 粒	13.0	21.0	0.50	するいような	
4	蕨手刀	青森県八戸市丹後平	Eg	3.03	0.94	0.33	0.31	XT、Ma	7.0	30.0	0.23	_	
4	がユンゴ	25 号墳周溝	Rg	3.00	0.79	0.33	0.26	XT, XF, Ma	7.0	30.0	0.23		
5	蕨手刀	青森県八戸市丹後平	Eg	0.80	1.70	1.25	2.13	no	_		_	_	
J	数十万	33 号墳主体部	Rg	_	-	_	-	Gl					
Rf1	方頭大刀	岩手県花巻市	Eg	0.67	0.73	1.49	1.09	Wus, XF,	_		_	_	
KII	刀頭八刀	熊堂古墳群B地点	Lg	0.07	0.73	1.49	1.09	Ma					
Rf2	直刀	北海道平取町	Eg	0.94	0.44	1.06	0.47	Fa, Gl	_	_	_	_	
MZ	巨刀	カンカン2 遺跡	Lg	0.54	0.44	1.00	0.47	ra, Gi					
Rf3	直刀	岩手県盛岡市	Eg	3.00	0.56	0.33	0.19	IO, GI	_		_	_	
KIS	旦刀	宿田遺跡RX001 主体部	Eg	3.00	0.50	0.55	0.19	10, 61					
Rf4	曲手刀子	北海道枝幸町		6.80	3.20	0.15	0.47	no					
M4	四十八十	目梨泊遺跡	Rg	6.45	3.91	0.15	0.61	IO、GI				_	

- 注1) 化学成分分析はICP-AES 法による。
- 注2) no- 見出されず、Wus- ウスタイト、IO- 酸化鉄、XT- 鉄チタン酸化物、Fa- 鉄かんらん石、 XF=Fe-Mg-Si-O系化合物、Gl= ガラス質ケイ酸塩、Ma= 微細粒子が混在したガラス化した領域。
- 注3) Co* = (mass% Co) / (mass% Ni) 、Cu* = (mass% Cu) / (mass% Ni) 、Ni** = (mass% Ni) / (mass%Co) 、Cu** = (mass% Cu) / (mass% Co)

丹後平古墳群出土金属製品の中には、日本刀の成立につながる技術交流を考えるうえで重要な情報を有する資料が含まれている。日本刀は、「弯刀」、「鎬造」、および「鎺金と鐔が茎に摺り合う状態で装着され、柄木に収まる刀装構造」の3要素が具備されてはじめて成立する。その時期は平安後期と考えられているが、その成立を果たした地域は不明である(財団法人佐野美術館2003)

日本刀の成立に不可欠な3 要素のうち、「弯刀」については、東北地方北部および北海道から出土する蕨手刀の形態変化、さらには蕨手刀から毛抜型太刀への移行の中にその変遷過程をみてとれる。

丹後平古墳群から出土した蕨手刀には直刀タイプのII型と、弯刀化が進んだI型の2つのタイプがみられ、上記2 資料から弯刀化への移行を辿ることができるが、「鎺金と鐔が茎に摺り合う状態で装着され、柄木に収まる刀装構造」の要素を具備していないことから、蕨手刀を日本刀の素形と位置づけることは難しい。

丹後平古墳群出土金属資料の調査を通して、大陸および畿内をはじめとする複数の地域から丹後平古墳群に、様々な形態と素材の金属製品がもたらされていた様子をみてとれた。多様な金属製品を受容するためには、それに見合った経済基盤が整備がされている必要がある。交換経済の視点を加味し、出土資料の更なる調査と他地域から出土した資料との比較検討を進めることにより、本シンポジウムが主題とする獅噛式三累環頭大刀柄頭の来歴を含む、丹後平古墳群における物質文化交流の実態が一層みえてくると思われる。

5. 和鉄の道・Iron Road 古代東北の鉄・蕨手刀関連 掲載リスト

1. 黄金吹く行方製鉄遺跡群 福島県原町 蝦夷征伐の兵器庫 金沢製鉄遺跡	1999.
https://infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstlaa04.pdf	
2. 岩手県北上川流域の和鉄	2001.
蝦夷の主要武器「蕨手刀」& 日本刀のルーツ舞草刀 を訪ねて一関博物館	
https://infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstlbb08.pdf	
3. 田舎なれども南部の国は 西も東も金の山	2002.
岩手県・南部 蝦夷の鉄 北上山系 大槌・釜石へ	
https://infokkkna.com/ironroad/dock/iron/kmaisi.pdf	
4. 蝦夷の雄「アテルイ」蝦夷の雄:阿弖流為の痕跡 京都 清水山「清水寺・将軍塚」	2016.
https://infokkkna.com/ironroad/2016htm/1603tpb01aterui.pdf	
5. 蝦夷の鉄 古代東北の鉄 和鉄の道9編	2004
https://infokkkna.com/ironroad/dock/iron/4iron06.pdf	
6. 古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる	2014. 6. 8.
https://infokkkna.com/ironroad/2014htm/iron10/1408yamada00.htm	
7.【参考】古代三陸で行われた鉄生産技術について	2014
竪型炉と横型炉そして 鞴技術に着目して	
蕨手刀を手に大和と戦った蝦夷の鉄生産基地は三陸沿岸だったのだろうか????	
https://infokkkna.com/ironroad/2014htm/iron10/1408yamadakodaitetsu.pdf	
8. 〈スライド動画〉 東北三陸沿岸のIron Road を訪ねる 2014. 6. 7-6. 9	
宮古から久慈へ大震災・津波の被災地を結ぶ三陸鉄道 北リアス線に乗って北三陸沿岸	≧を め <i>ぐ</i> ス
https://infokkkna.com/ironroad/2014htm/iron10/1410sanriku00.htm	- CW < S
9. 和鉄の道 鬼に関する掲載記事の再整理 仲間の鬼に思う 2018.	. 2. 3
https://infokkkna.com/ironroad/2018htm/2018iron/18iron01.pdf	
10. 私蔵版「和鉄の道・Iron Road」 [Review2] たたら探訪通史(たたらの歴史) 202	1.
穴澤功氏講演資料「我が国の製鉄遺跡遺跡の歴史」をベースに和鉄の道を眺める	
https://www.infokkkna.com/ironroad/2021htm/iron17/R0312MutsulronRoad2021B.u	mp4
https://infokkkna.com/ironroad/2021htm/iron17/R0312MutsulronRoad2021Bphoto.	

日本刀の源流「蕨手刀」に思いを寄せて NHK歴史探偵「日本の刀剣」視聴記録&資料収集

添付 蕨手刀を手に戦った東北の蝦夷に思いを寄せて 古代東北の和鉄の道資料整理 RO409warabiteweb.pdf 2022.8.20. Mutsu Nakanishi

■ 蝦夷が手にした蕨手刀

この蕨手刀は蝦夷に伝わって武器としての進化を遂げたという。この刀を持っていたことで、 蝦夷は坂上田村麻呂などの蝦夷征討軍を苦しめることができたのだという。





畿内政権と戦った蝦夷国アテルイの武器 蕨手刀の分布

騎馬部隊の存在…

阿弖流為が、何故一次蝦夷征伐で朝廷軍を蹴散らせたか? 圧倒的な騎馬戦力が有ったからではないかと。

それは馬の捕獲数で裏付け可能。

蝦夷38年戦争により、騎馬部隊による斬撃の有効性が立証された としたら?

一機にその方向で戦略物資たる、太刀の構造や馬の確保の見直しもやるだろう。やらねば、律令制の完成は無いのだから。

蕨手刀の能力を最大限に引き出すのは、

騎乗で片手で振り回せる手軽さと、片刃で柄が刀身に対し湾曲する 「斬撃性」だった。

それを極限迄高めたのが…日本刀。そんな背景を持つ。



清水山将軍塚が見下ろす清水寺の舞台のすぐ下 緑に包まれて蝦夷の族長 阿弖流為と母禮の顕彰碑

参考 蝦夷の雄「アテルイ」の痕跡「京都清水寺・将軍塚」

https://infokkkna.com/ironroad/2016htm/1603tpb01aterui.pdf 8月21日 久し振りに 阿弖流為/母禮の顕彰碑に出会ってきました。 平和に尽くした坂上田村麻呂と蝦夷の族長 阿弖流為に思いを馳せつつ 大きな時代の転換期の今 希望にみちた穏やかな未来がひらけるようを祈りました